

米をめぐる関係資料

平成 2 6 年 1 1 月

農林水産省

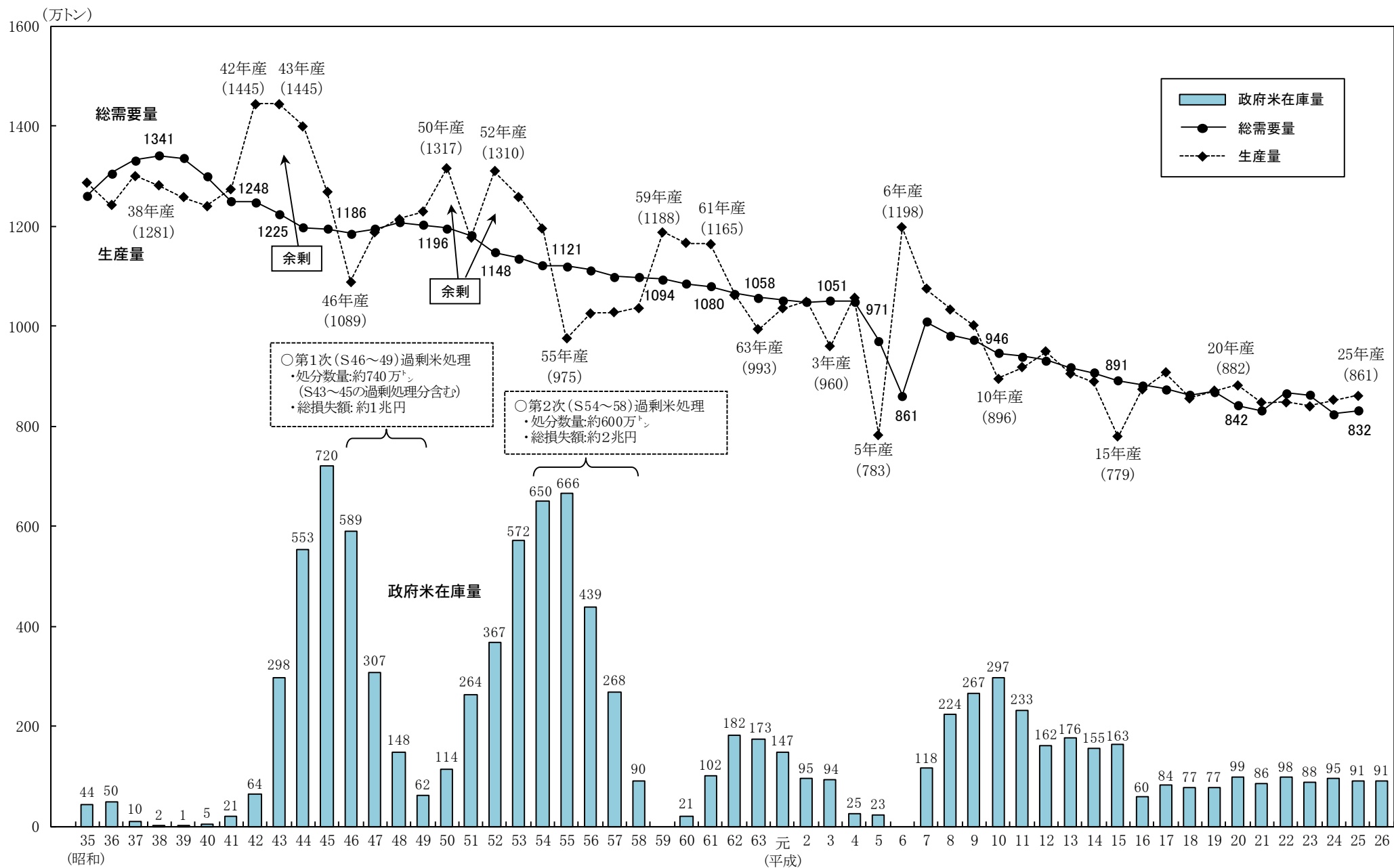
目

1	米の全体需給の動向(昭和35年～)	1
2	米の用途別・年産別、生産量の推移	2
3	平成26年水稻の作付面積及び予想収穫量(平成26年10月15日現在)	3
4	都道府県別作況指数(平成26年10月15日現在)	4
5	平成26年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況(都道府県別概数値)	5
6	26年産の作柄概況(10月15日現在)と需給	6
7	米の流通の状況(16～24年産米)	9
8	米の流通経路別流通量の状況	10
9	家庭における米購入量の推移	11
	(参考1)1世帯当たりの購入量の推移(米・パン・めん類)	12
	(参考2)1世帯当たりの支出金額の推移(食料)	13
10	米の消費動向	14
11	外食の動向	18
12	主食用米の販売動向(米穀卸売業界調査)	20
13	米消費拡大の取組	21
	(参考)茶わん1杯のお米の値段	24
14	米の相対取引価格の月別全銘柄平均の推移(平成18年産～26年産)	25
15	産地品種銘柄別相対取引価格の推移(平成26年産)	26
16	平成26年産米の相対取引価格・数量(平成26年9月分)	27
17	産地品種銘柄別相対取引価格の推移(平成25年産)	30
18	米の主な流通経路及び概算金決定の流れ	31
19	26年産米の概算金・相対基準価格の動向について	32
20	26年産の概算金・相対取引基準価格・相対取引価格の動向について	33
21	26年産米の取引価格の動向	34
22	水稻うるち玄米の1等比率	35
23	民間流通における6月末在庫の推移	36
24	政府備蓄米の6月末在庫の推移	37
25	政府備蓄米の在庫の状況	38
26	主食用等の生産量と需要量及び民間在庫の推移	39
27	26年産米の政府備蓄米の買入	40
28	東日本大震災を踏まえての災害時に対応した備蓄の検討	41
29	水田の利用状況(平成24年度)	42
30	水田の利用状況の推移	43
31	全国の需給調整の取組状況の推移(平成16年産～26年産)	44
32	平成26年産米の都道府県別の生産数量目標	45
33	生産数量目標の都道府県間調整の推移	46
34	平成26年産米の都道府県別需給調整の取組状況	47
35	酒造好適米の需要に応じた生産拡大について	48

次

36	農林水産業・地域の活力創造プラン	49
37	米に係る経営所得安定対策の概要	51
38	水田活用の直接支払交付金の概要(平成27年度予算概算要求)	52
39	水田フル活用ビジョンについて(概要)	53
40	新規需要米等の用途別取組状況(平成20年産～26年産)	54
41	米粉用米の動向	55
42	飼料用米の動向	56
43	今後の飼料用米の供給増大のイメージ	57
44	配合飼料メーカーへの飼料用米の供給について	58
45	飼料用米の推進について	59
46	平成27年産飼料用米の大幅な拡大に向けた取組	60
47	飼料用米の利用拡大のための機械・施設整備等に対する支援について	61
48	米の作付規模別10a当たり生産費	62
49	販売目的で作付けた水稻の作付面積規模別農家数(平成17～25年)	65
50	経営規模・生産コスト等の内外比較	66
51	コメの内外価格差	67
52	ガット・ウルグアイ・ラウンド交渉	68
53	MA米の受け入れ	69
54	コメの輸入制度	70
55	MA米と国家貿易	71
56	MA米輸入の仕組み	72
57	MA米の輸入状況	73
58	平成26年度のSBS米の輸出入札状況	74
59	MA米の販売状況	75
60	MA米の運用に伴う財政負担	76
61	MA米をめぐる国際関係	77
62	WTO農業交渉とコメ	78
	(参考1)世界の米需給の現状(主要生産国、輸出国等)	79
	(参考2)米輸出国の動向	80
	(参考3)我が国におけるコメ	81
63	商業用の米の輸出数量及び輸出金額の推移	82
64	ASEAN+3緊急米備蓄(APTERR)の概要	83
65	米トレーサビリティ法の概要	84
66	玄米及び精米品質表示基準の見直しの理由及び内容	85
67	米の放射性物質濃度低減に向けた継続的検査と技術指導	86
68	26年産米の作付等に関する方針【①避難指示区域】	87
69	26年産米の作付等に関する方針【②避難指示区域以外の地域】	88
70	26年産米の作付制限等の対象地域(25年産との比較)	89

1 米の全体需給の動向(昭和35年～)



注1. 政府米在庫量は、外国産米を除いた数量である。
 2. 政府米在庫量は、各年10月末現在である。ただし、平成15年以降は各年6月末現在である。
 3. 平成12年10月末の政府米在庫量は、「平成12年緊急総合米対策」による援助用隔離等を除いた数量である。
 4. 総需要量は、「食料需給表」(4月~3月)における国内消費仕向量(陸稲を含み、主食用(米菓・米穀粉を含む)のほか、飼料用、加工用等の数量)である。ただし、平成5年以降は国内消費仕向量のうち国産米のみの数量である。
 5. 生産量は、「作物統計」における水稲と陸稲の収穫量の合計である。

2 米の用途別・年産別、生産量の推移

(単位:千トン)

用途 年産	主食用米	非主食用米	うち 加工用米	うち 備蓄米	うち 新規需要米					
						米粉用	飼料用	輸出用	酒造用	その他
20	8,658	161	149	平成22年産 米までは 主食用とし て生産。	12	1	8	0	-	3
21	8,309	182	141		41	13	23	1	-	3
22	8,239	328	213		115	28	81	2	-	4
23	8,133	451	155	68	229	40	183	2	-	4
24	8,210	490	181	85	224	35	183	3	-	4
25	8,182	534	208	183	142	21	115	3	-	3
26	7,885	729	268	250	211	18	178	6	4	3

注1: 主食用米については、作物統計(農林水産省統計部)の値である。

注2: 加工用米については実績値で、平成26年産は平成26年10月15日現在の値である。

注3: 備蓄米については、政府買入実績値で、平成26年産は落札数量である。

注4: 新規需要米については計画生産量で、平成26年産は平成26年10月15日現在の値である。

注5: 新規需要米の「酒造用」は「需要に応じた米生産の推進に関する要領」に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米を指す。

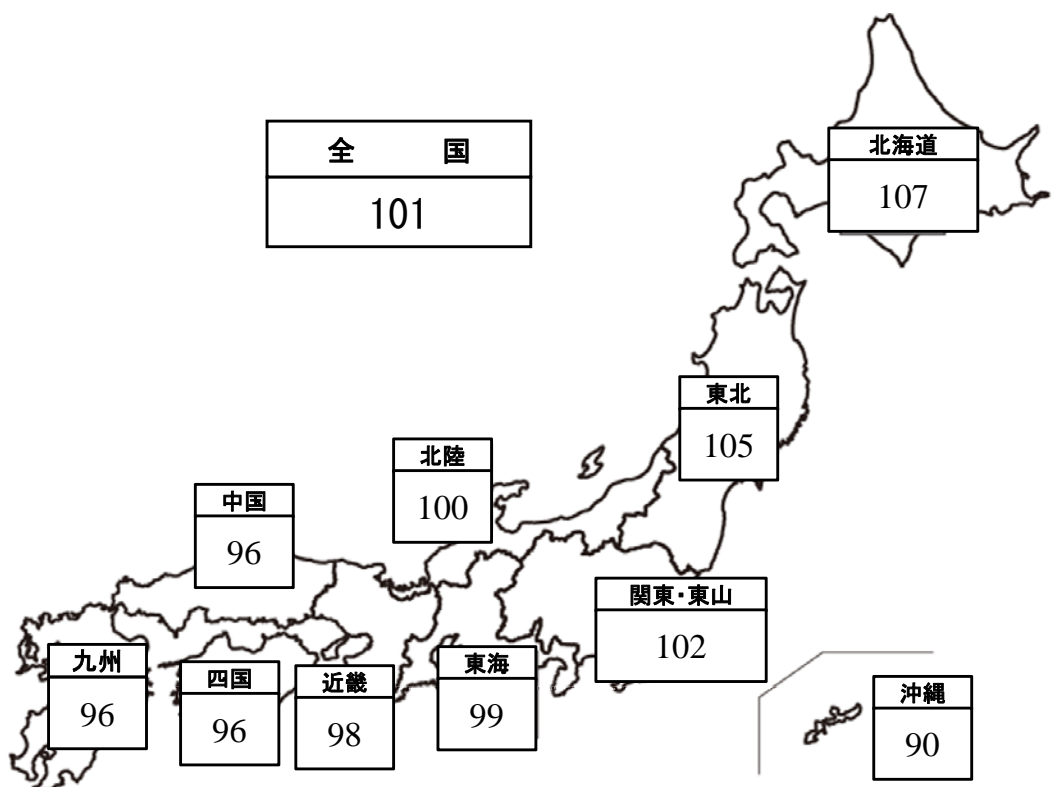
注6: その他については、わら専用稲、青刈り用稲、バイオエタノール用米等である。

注7: ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 平成26年水稻の作付面積及び予想収穫量 (平成26年10月15日現在)

- 平成26年産水稻作付面積(主食用米)は147.4万haで、前年産に比べて4.8万haの減少(対前年比96.8%)が見込まれる。
- 10月15日現在における全国の10a当たり予想収量は536kg(作況指数101)と見込まれる。
これは、北海道から関東・東山では、登熟が総じて平年を下回っているものの、全もみ数が総じて多くなっていることから作柄がおおむね平年並み以上と見込まれる一方、東海以西では、日照不足・低温や一部地域での病虫害等の影響で全もみ数及び登熟が平年を下回っていると見込まれるためである。
- この結果、主食用予想収穫量は789万トンで、前年産に比べて30万トンの減少(対前年比96.4%)が見込まれる。

全国農業地域別作況指数

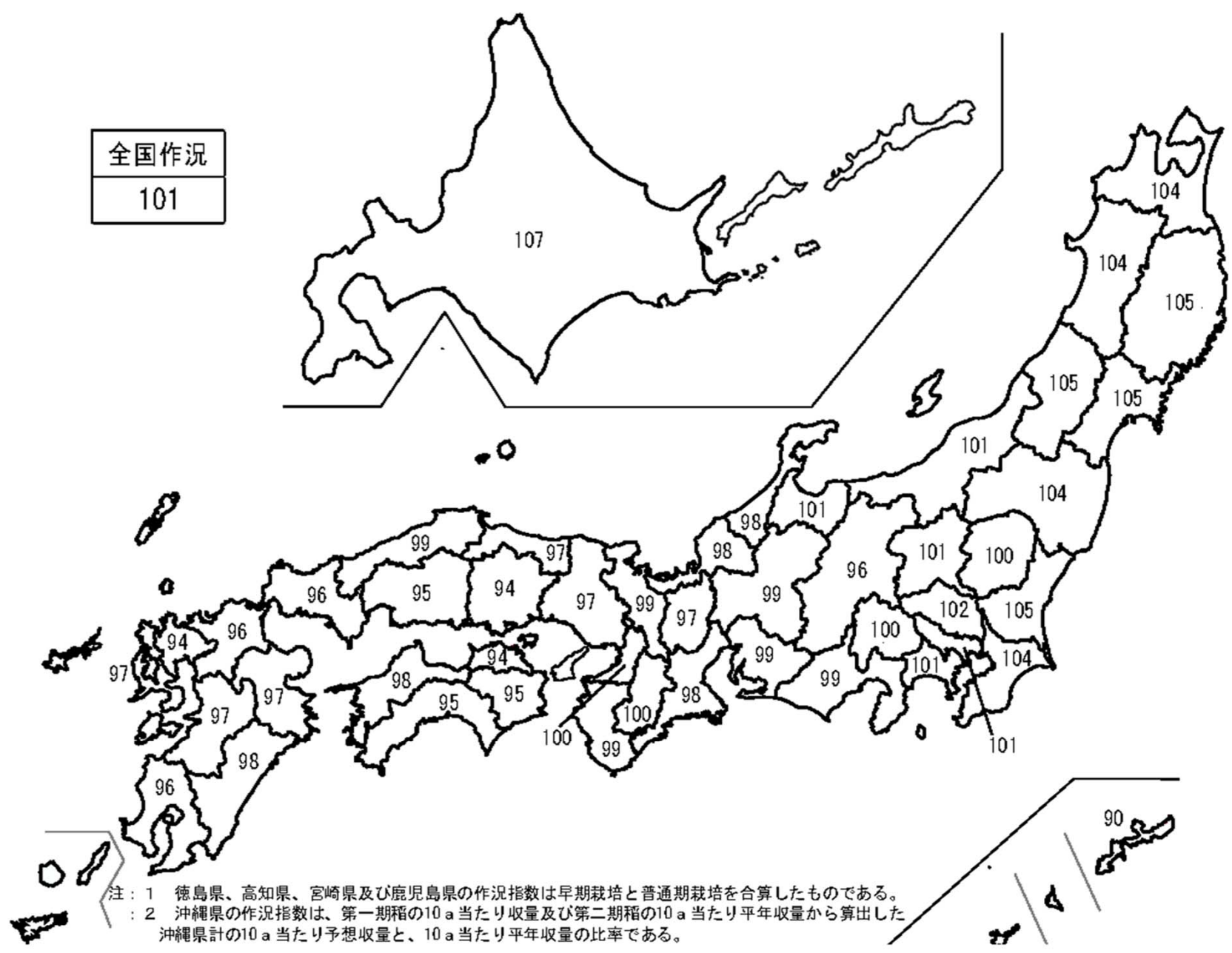


平成26年産水稻の作付面積及び10月15日現在の10a当たり予想収量

全国農業地域	作付面積(子実用)			10a当たり 予想収量 ②	10a当たり 平年収量 ③	作況指数 ④=②/③	予想収穫量(子実用)			参 考	
	実数 ①	前年産との比較					実数 ⑤=①×②	前年産との比較		主食用作付 見込面積 ⑥	予想収穫量 (主食用) ⑦=⑥×④
		対差	対比					対差	対比		
全 国	1,573,000 ha	△ 24,000 ha	98 %	536 kg	530 kg	101	8,438,000 t	△ 165,000 t	98 %	1,474,000 ha	7,885,000 t
北 海 道	111,000	△ 1,000	99	577	537	107	640,500	11,100	102	103,500	597,200
東 北	402,500	△ 3,700	99	585	559	105	2,354,000	26,000	101	361,100	2,109,000
北 陸	212,500	△ 200	100	536	534	100	1,139,000	△ 21,000	98	190,000	1,019,000
関 東・東 山	292,800	△ 6,100	98	545	535	102	1,595,000	△ 40,000	98	279,800	1,524,000
東 海	99,700	△ 2,600	97	497	503	99	495,100	△ 29,700	94	97,500	483,600
近 畿	108,000	△ 1,400	99	497	509	98	537,100	△ 30,100	95	104,500	519,900
中 国	112,600	△ 2,600	98	495	517	96	556,900	△ 30,700	95	108,700	536,600
四 国	55,300	△ 1,100	98	463	484	96	256,200	△ 16,800	94	54,500	253,000
九 州	178,200	△ 5,300	97	484	502	96	861,900	△ 33,800	96	173,700	840,500
沖 縄	860	△ 30	97	279	309	90	2,400	10	100	860	2,400

注：1 予想収穫量(子実用)及び予想収穫量(主食用)については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
2 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量を用いた。

4 都道府県別作況指数 (平成26年10月15日現在)



注：1 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培と普通期栽培を合算したものである。
 2 沖縄県の作況指数は、第一期稲の10a当たり収量及び第二期稲の10a当たり平均収量から算出した沖縄県計の10a当たり予想収量と、10a当たり平均収量の比率である。

5 平成26年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況(都道府県別概数値)

- 全国平均で見ると、1.85mm未満のふるい下米の重量割合は4.2%と見込まれ、過去5か年平均値と比べて0.4%多くなっている。
- 都道府県別で見ると、茨城県、千葉県、埼玉県等の一部の県で1.85mm未満のふるい下米の重量割合が過去5か年平均値に比べて少なく、東海以西の多くの県ではふるい下米が多くなっている。

全 国 都道府県	ふるい目幅別重量分布状況			過去5か年 平均値との差
	計	1.70~ 1.85mm未満	1.85mm 以上	1.70~ 1.85mm未満
	%	%	%	
全 国	100.0	4.2	95.8	0.4
北海道	100.0	3.3	96.7	0.2
青 森	100.0	3.5	96.5	0.8
岩 手	100.0	3.3	96.7	0.9
宮 城	100.0	3.0	97.0	0.6
秋 田	100.0	3.4	96.6	0.0
山 形	100.0	2.7	97.3	0.0
福 島	100.0	3.2	96.8	0.6
茨 城	100.0	3.0	97.0	△ 1.1
栃 木	100.0	4.3	95.7	△ 0.1
群 馬	100.0	6.1	93.9	△ 0.2
埼 玉	100.0	5.3	94.7	△ 0.6
千 葉	100.0	3.4	96.6	△ 0.9
東 京	100.0	7.7	92.3	3.2
神 奈 川	100.0	7.8	92.2	2.1
新 潟	100.0	3.3	96.7	0.2
富 山	100.0	2.8	97.2	0.4
石 川	100.0	3.0	97.0	0.3
福 井	100.0	4.2	95.8	0.7
山 梨	100.0	5.0	95.0	0.5
長 野	100.0	4.5	95.5	1.1
岐 阜	100.0	5.1	94.9	1.5
静 岡	100.0	4.1	95.9	1.2
愛 知	100.0	4.4	95.6	1.4

全 国 都道府県	ふるい目幅別重量分布状況			過去5か年 平均値との差
	計	1.70~ 1.85mm未満	1.85mm 以上	1.70~ 1.85mm未満
	%	%	%	
三 重	100.0	5.2	94.8	0.8
滋 賀	100.0	5.2	94.8	0.8
京 都	100.0	3.9	96.1	0.7
大 阪	100.0	7.7	92.3	0.9
兵 庫	100.0	5.1	94.9	0.2
奈 良	100.0	3.3	96.7	△ 1.1
和 歌 山	100.0	4.6	95.4	0.4
鳥 取	100.0	4.2	95.8	0.6
島 根	100.0	4.2	95.8	1.3
岡 山	100.0	5.7	94.3	1.7
広 島	100.0	4.4	95.6	0.9
山 口	100.0	4.6	95.4	0.4
徳 島	100.0	7.2	92.8	2.2
香 川	100.0	8.2	91.8	0.8
愛 媛	100.0	6.1	93.9	1.2
高 知	100.0	3.4	96.6	△ 0.3
福 岡	100.0	8.0	92.0	1.9
佐 賀	100.0	6.9	93.1	1.0
長 崎	100.0	7.7	92.3	1.0
熊 本	100.0	7.0	93.0	1.2
大 分	100.0	8.4	91.6	0.8
宮 崎	100.0	5.6	94.4	0.7
鹿 児 島	100.0	6.4	93.6	1.6
沖 縄	…	…	…	…

注：1 ふるい目幅別重量分布状況は、10月15日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、収穫期の遅い遅場地域においては、次回公表において割合が変動することがある。

2 沖縄県については、10月15日現在で、第二期稲が収穫前でデータが揃わないため「…」で示した。

6 26年産の作柄概況(10月15日現在)と需給①

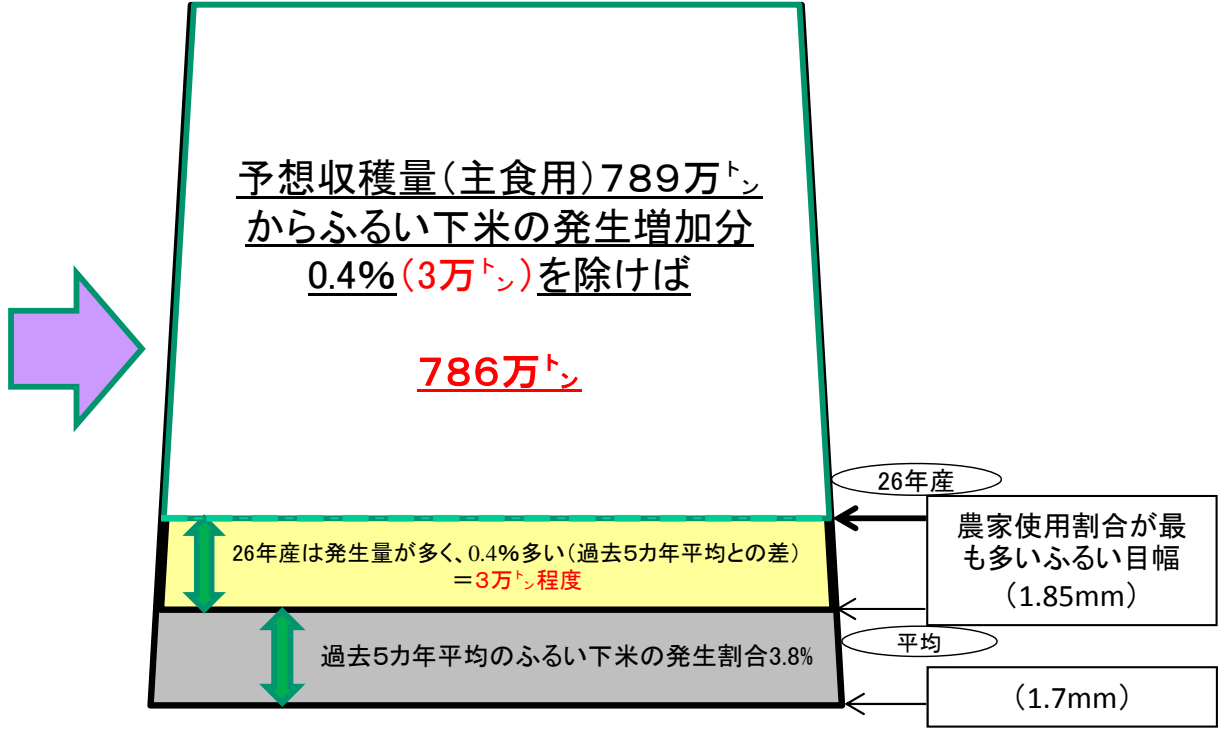
(1)ふるい下米の発生状況

- 作柄概況で使用するふるい目(主食用として出荷される粒の大きさを示すふるい)は、1.70mm以上となっている。
- 実際の生産現場ではそれより大きな1.85~1.90mmのふるいにかけて出荷されている。
- 26年産米について、ふるい下米の発生状況(ふるい目幅1.70mm以上~1.85mm未満の米の重量割合)をみると、もみ数が多い地域において登熟が平年を下回っており、全国的にふるい下の割合は過去5年に比べて0.4%増となっている。
- したがって、ふるい下の発生量の増加分、流通量が予想収穫量(主食用)から例年以上に減少する可能性があると考えられる。

○26年産のふるい下発生状況

(ふるい目幅1.70mm以上1.85mm未満の間の米の重量割合)

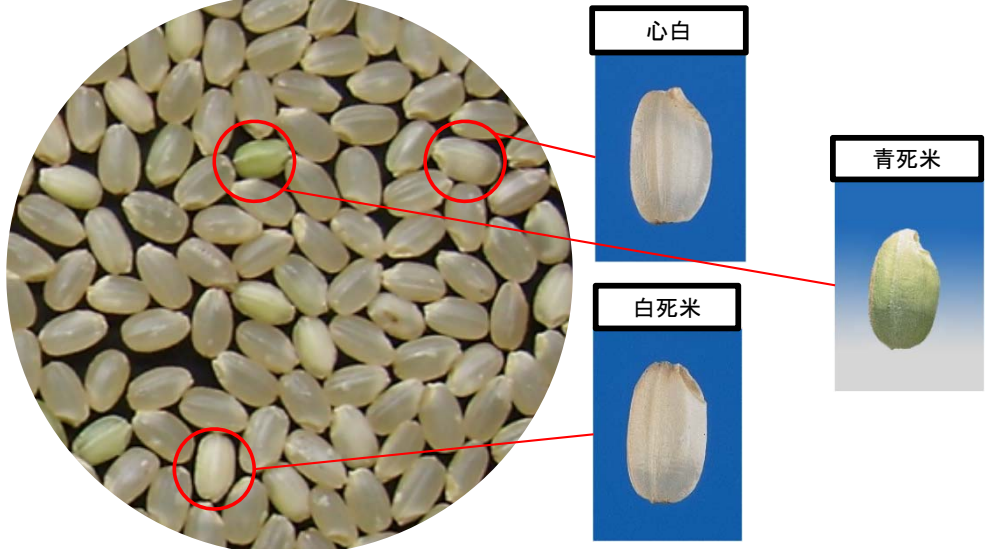
	26年産 ①	過去5カ年平均 ②	①-②
全 国	4.2%	3.8%	0.4%
北 海 道	3.3%	3.1%	0.2%
東 北	3.2%	2.7%	0.5%
北 陸	3.3%	3.1%	0.2%
関東・東山	4.0%	4.4%	▲0.4%
東 海	4.7%	3.6%	1.1%
近 畿	4.9%	4.5%	0.4%
中 国	4.7%	3.7%	1.0%
四 国	6.3%	5.2%	1.1%
九 州	7.3%	5.9%	1.4%



6 26年産の作柄概況(10月15日現在)と需給②

(2) 青死米等の発生状況

- 26年産米は、登熟不良の地域が多く、調製後のふるい上に、青死米等が例年より多く残っていると指摘されている。ふるいに残った青死米等は、一般的には、通常の米に混入して、農家からJAを通じて主食用米として出荷された後、卸売業者の段階で精米を行う場合に、粉状に砕けるか、色彩選別機で除外(一部地域ではJAの段階で色彩選別機で除外)されるため、流通量が予想収穫量(主食用)よりも例年以上に減少する可能性があると考えられる。
- このため、作柄概況のサンプルを抽出し、青死米等(青未熟粒を除く)を調査したところ、混入割合が6.4%となっている。
- また、平年との比較を行うため、日本精米工業会における過去データ(22~24年産)との比較を行ったところ、本年産では平均で2.1%の増加となっている。



青死米等の発生状況

単位：%

	26年産 青死米等の 混入割合 ①	(参考) 精米工業会データによる 過去の青死米等の 混入割合 ②	26年産と平年 との比較 ①-②
全 国	6.4	4.3	2.1
北 海 道	17.3	5.2	12.1
東 北	3.9	4.1	▲ 0.2
北 陸	8.6	2.4	6.2
関 東・東 山	5.5	3.9	1.6
東 海	8.9	8.2	0.7
近 畿	9.0	2.8	6.2
中 国	4.0	4.5	▲ 0.5
四 国	5.4	6.5	▲ 1.1
九 州	2.9	4.9	▲ 2.0

○平成26年産水稻における青死米等調査の概要

(1)使用サンプルは、地方農政局又は地域センターの作況標本筆から無作為に抽出した筆の刈取り試料のうちの約1割に当たる約1千点について、水稻収穫量調査の算定に用いた1.70mm以上の米を20g程度に縮分したものを使用。

(2)抽出したサンプルについては、縮分サンプルから青死米等(青死米、白死米、着色粒、心白・腹白粒)を仕分け、その重量を計測。

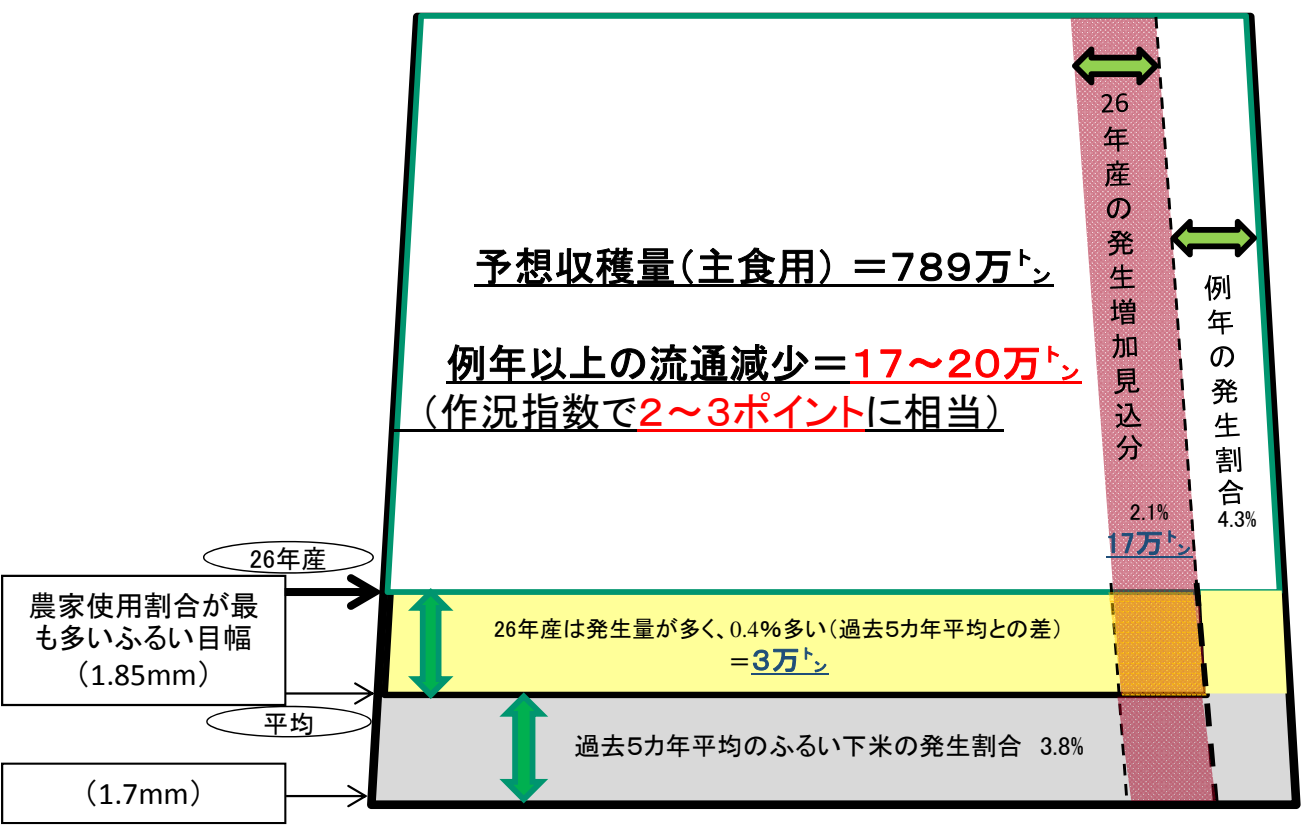
(3)計測結果については、地方農政局の統計部と生産部局が協力の上集計し、1.70mm以上の重量に占める青死米等の混入割合を算出。

注： ②の参考データ(青死米等の混入割合)は、日本精米工業会の過去データ(22年~24年産)を農林水産省でブロック別に集計したものの。

6 26年産の作柄概況(10月15日現在)と需給③

- 26年産主食用米については、
 - ①ふるい下米の増加分が3万トン程度、
 - ②青死米等の発生増加分が17万トン程度あり、この分、流通量が予想収穫量(主食用)よりも減少する可能性があると考えられる。
- これらについては、一部、両者の重なり部分があると考えられることから、予想収穫量(主食用)から例年以上に減少する可能性があるのは▲17万トン～▲20万トン(▲3万トン+▲17万トン)と考えられる。なお、これは、作況指数では2～3ポイントに相当。

26年産米の状況(イメージ)



平成26年産米における青死米等の発生
 の増加見込みは2.1%。
 したがって1.7mmふるい上の青死米等の
 発生増加分は、
 $789万トン \times 2.1\% = 17万トン$
 と見込まれる。

7 米の流通の状況(16～24年産米)

【生産段階】

(単位:万トン)

年産	生産量													
	出荷・販売		農家消費等		その他									
					加工用米等		もち米		減耗					
16	872	100.0%	636	72.9%	180	20.6%	56	6.4%	12	1.4%	27	3.1%	17	1.9%
17	906	100.0%	653	72.1%	183	20.2%	62	6.8%	13	1.4%	31	3.4%	18	2.0%
18	855	100.0%	631	73.8%	165	19.3%	59	6.9%	15	1.8%	27	3.2%	17	2.0%
19	871	100.0%	632	72.6%	174	20.0%	65	7.5%	17	2.0%	31	3.6%	17	2.0%
20	882	100.0%	636	72.1%	172	19.5%	64	7.3%	16	1.8%	30	3.4%	18	2.0%
21	847	100.0%	624	73.7%	161	19.0%	62	7.3%	16	1.9%	29	3.4%	17	2.0%
22	848	100.0%	592	69.8%	173	20.4%	73	8.6%	24	2.8%	32	3.8%	17	2.0%
23	840	100.0%	594	70.7%	170	20.2%	76	9.0%	26	3.1%	33	3.9%	17	2.0%
24	852	100.0%	604	70.9%	167	19.6%	81	9.5%	31	3.6%	33	3.9%	17	2.0%

【出荷・販売段階】

(単位:万トン)

年産	出荷・販売															
			農協						全集連系業者						生産者 直接販売	
			販売委託		直販		販売委託		直販							
16	636	72.9%	390	44.7%	350	40.1%	40	4.6%	20	2.3%	7	0.8%	12	1.4%	226	25.9%
17	653	72.1%	405	44.7%	352	38.9%	53	5.8%	22	2.4%	8	0.9%	13	1.4%	226	24.9%
18	631	73.8%	384	44.9%	320	37.4%	64	7.5%	21	2.5%	9	1.1%	13	1.5%	227	26.5%
19	632	72.6%	378	43.4%	308	35.4%	70	8.0%	21	2.4%	9	1.0%	13	1.5%	232	26.6%
20	636	72.1%	390	44.2%	303	34.4%	87	9.9%	21	2.4%	8	0.9%	14	1.6%	224	25.4%
21	624	73.7%	372	43.9%	294	34.7%	78	9.2%	22	2.6%	7	0.8%	15	1.8%	230	27.2%
22	592	69.8%	369	43.5%	285	33.6%	84	9.9%	21	2.5%	6	0.7%	15	1.8%	202	23.8%
23	594	70.7%	351	41.8%	259	30.8%	92	11.0%	22	2.6%	6	0.7%	15	1.8%	222	26.4%
24	604	70.9%	352	41.3%	273	32.0%	79	9.3%	21	2.5%	6	0.7%	15	1.8%	231	27.1%

資料:農林水産省「作物統計」、「生産者の米穀現在高等調査」(22年産は「生産者の米穀在庫等調査」)、「農林業センサス」、「米穀の取引に関する報告」及び全国出荷団体調べ等を基に推計。

注:1)平成21年産までの推計に用いた「生産者の米穀現在高等調査」と22年産の推計に用いた「生産者の米穀在庫高等調査」では調査対象農家の定義が異なる(前者は10a以上稲を作付(子実用)している農家、後者は販売目的の水稻の作付面積が10a以上の販売農家が対象)ことから、22年産では推計手法を変更している。

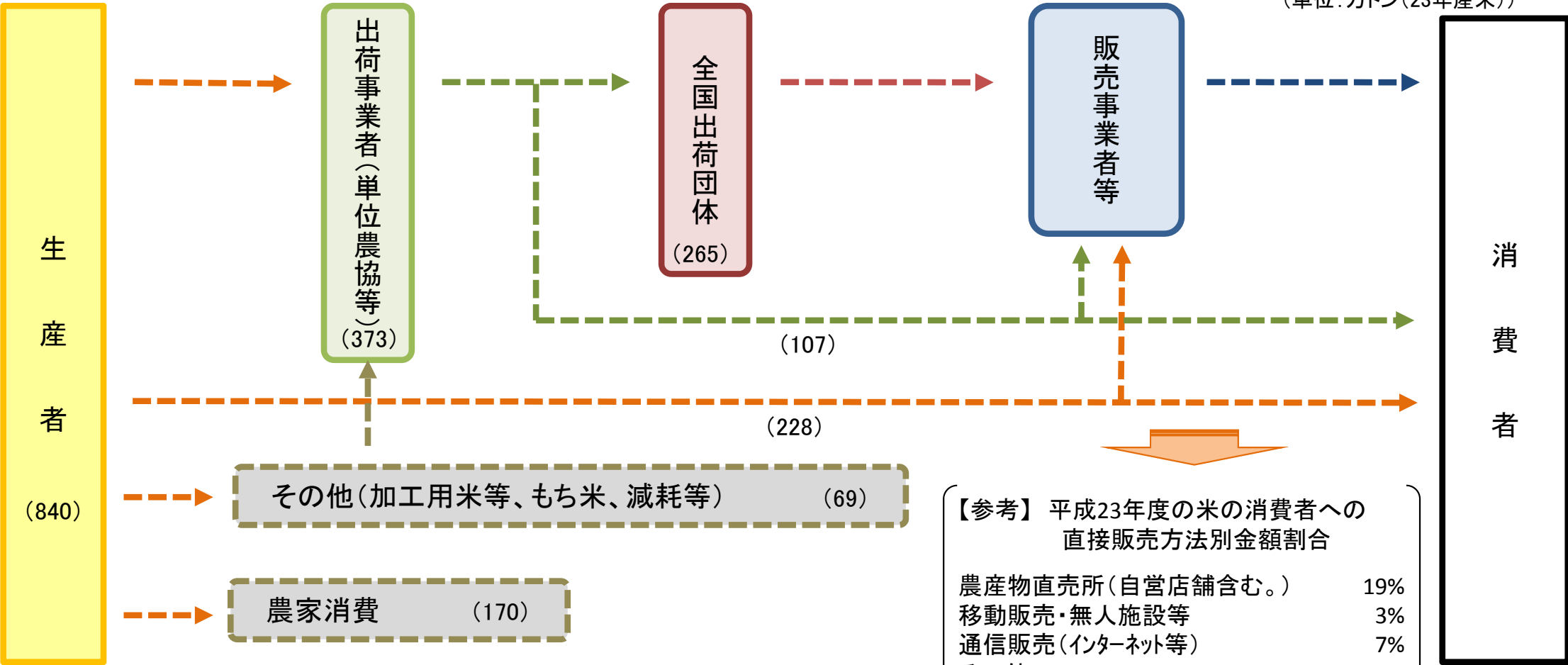
2)生産段階には、このほか、①集荷円滑化対策による区分出荷米(17年産8万トン、20年産米10万トン)、②品質低下に伴う歩留り減(22年産米10万トン)がある。

3)ラウンドの関係で、計と内訳が一致しない場合がある。

8 米の流通経路別流通量の状況

- 米の流通については、食糧管理法等の下では、全国出荷団体、卸業者を経由した流通が基本となっていたが、平成16年以降、流通が自由化され、流通経路は多様化。
- 現在、生産者の販売量のうち、全国出荷団体を経由するものは半数未満となっており、生産者や単位農協等による直接販売やインターネットを活用した販売が増加。

(単位: 万トン(23年産米))



【参考】平成23年度の米の消費者への直接販売方法別金額割合

農産物直売所(自営店舗含む。)	19%
移動販売・無人施設等	3%
通信販売(インターネット等)	7%
その他	72%

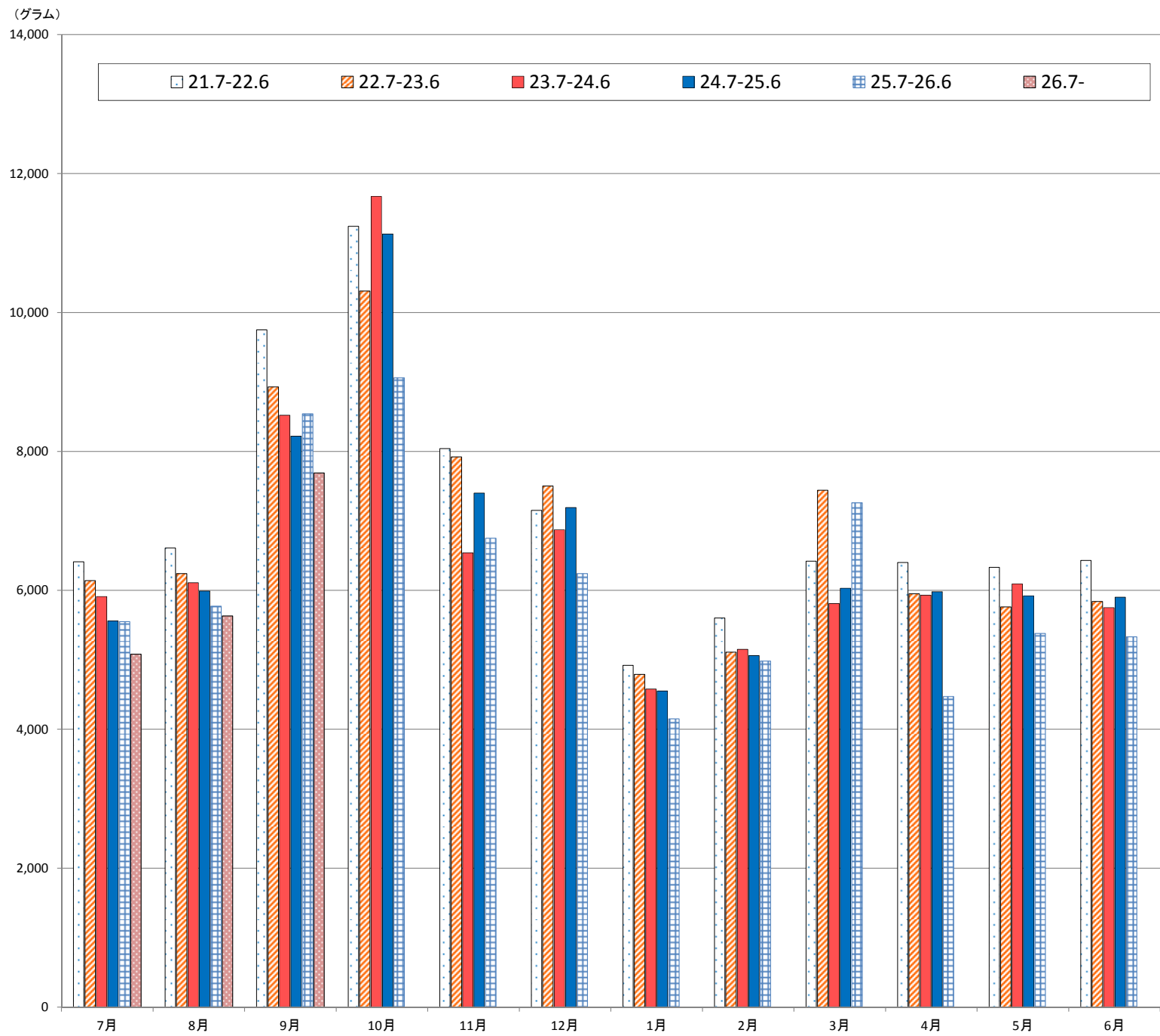
資料：農林水産省「6次産業化総合調査(平成23年度結果)」(組替集計により推計)

資料：農林水産省「作物統計」、「生産者の米穀在庫等調査」、「農林業センサス」、「米穀の取引に関する報告」及び全国出荷団体調べ等を基に推計。
 注1：単位農協等、全国出荷団体及び農家消費は、うるち米の値である。
 注2：事業者等には、卸売業者のほか外食・中食事業者等が含まれる。
 注3：ラウンドの関係で、計と内訳が一致しない場合がある。

9 家庭における米購入量の推移

(単位:グラム)

	月間購入量	対前年同月比	年間累計	対前年比
H21.7	6,410	+10.5%	85,300	▲2.0%
H21.8	6,610	+9.3%		
H21.9	9,750	▲3.0%		
H21.10	11,240	+0.3%		
H21.11	8,040	▲18.1%		
H21.12	7,150	▲13.5%		
H22.1	4,920	▲2.0%		
H22.2	5,600	+0.2%		
H22.3	6,420	+1.3%		
H22.4	6,400	▲3.3%		
H22.5	6,330	+1.8%		
H22.6	6,430	+6.1%		
H22.7	6,140	▲4.2%	81,930	▲4.0%
H22.8	6,240	▲5.6%		
H22.9	8,930	▲8.4%		
H22.10	10,310	▲8.3%		
H22.11	7,920	▲1.5%		
H22.12	7,500	+4.9%		
H23.1	4,790	▲2.6%		
H23.2	5,110	▲8.8%		
H23.3	7,440	+15.9%		
H23.4	5,950	▲7.0%		
H23.5	5,760	▲9.0%		
H23.6	5,840	▲9.2%		
H23.7	5,910	▲3.7%	78,930	▲3.7%
H23.8	6,110	▲2.1%		
H23.9	8,520	▲4.6%		
H23.10	11,670	+13.2%		
H23.11	6,540	▲17.4%		
H23.12	6,870	▲8.4%		
H24.1	4,580	▲4.4%		
H24.2	5,150	+0.8%		
H24.3	5,810	▲21.9%		
H24.4	5,930	▲0.3%		
H24.5	6,090	+5.7%		
H24.6	5,750	▲1.5%		
H24.7	5,560	▲5.9%	78,930	+0.0%
H24.8	5,990	▲2.0%		
H24.9	8,220	▲3.5%		
H24.10	11,130	▲4.6%		
H24.11	7,400	+13.1%		
H24.12	7,190	+4.7%		
H25.1	4,550	▲0.7%		
H25.2	5,060	▲1.7%		
H25.3	6,030	+3.8%		
H25.4	5,980	+0.8%		
H25.5	5,920	▲2.8%		
H25.6	5,900	+2.6%		
H25.7	5,550	▲0.2%	73,480	▲6.9%
H25.8	5,770	▲3.7%		
H25.9	8,540	+3.9%		
H25.10	9,060	▲18.6%		
H25.11	6,750	▲8.8%		
H25.12	6,240	▲13.2%		
H26.1	4,150	▲8.8%		
H26.2	4,980	▲1.6%		
H26.3	7,260	+20.4%		
H26.4	4,470	▲25.3%		
H26.5	5,380	▲9.1%		
H26.6	5,330	▲9.7%		
H26.7	5,080	▲8.5%	18,400	▲7.4%
H26.8	5,630	▲2.4%		
H26.9	7,690	▲10.0%		



(参考1) 1世帯当たりの購入量の推移(米・パン・めん類)

(単位:g、%)

	米		パン		めん類	
		対前年比		対前年比		対前年比
平成21年	85,110	▲3.9	45,599	+2.6	36,615	+2.0
平成22年	83,010	▲2.5	45,443	▲0.3	37,000	+1.1
平成23年	80,570	▲2.9	45,257	▲0.4	36,926	▲0.2
平成24年	78,780	▲2.2	44,808	▲1.0	35,819	▲3.0
平成25年	75,170	▲4.6	44,927	+0.3	35,560	▲0.7
平成24年1月	4,580	▲4.4	3,505	▲4.1	2,821	▲1.9
2月	5,150	+0.8	3,744	+4.8	2,699	▲2.3
3月	5,810	▲21.9	4,035	▲1.0	2,889	▲15.6
4月	5,930	▲0.3	3,870	▲0.2	2,831	+2.0
5月	6,090	+5.7	3,917	▲2.4	2,986	+0.9
6月	5,750	▲1.5	3,741	▲1.7	3,132	▲0.5
7月	5,560	▲5.9	3,704	+1.8	3,557	▲9.1
8月	5,990	▲2.0	3,736	+0.3	2,996	▲4.0
9月	8,220	▲3.5	3,566	▲2.4	2,477	▲4.1
10月	11,130	▲4.6	3,676	▲4.9	2,738	+1.9
11月	7,400	+13.1	3,640	▲1.6	2,955	+2.1
12月	7,190	+4.7	3,686	+0.5	3,657	▲1.0
平成25年1月	4,550	▲0.7	3,572	+1.9	2,695	▲4.5
2月	5,060	▲1.7	3,625	▲3.2	2,665	▲1.3
3月	6,030	+3.8	4,076	+1.0	2,965	+2.6
4月	5,980	+0.8	3,802	▲1.8	2,752	▲2.8
5月	5,920	▲2.8	3,972	+1.4	2,816	▲5.7
6月	5,900	+2.6	3,929	+5.0	3,365	+7.4
7月	5,550	▲0.2	3,803	+2.7	3,363	▲5.5
8月	5,770	▲3.7	3,607	▲3.5	3,164	+5.6
9月	8,540	+3.9	3,536	▲0.8	2,391	▲3.5
10月	9,060	▲18.6	3,721	+1.2	2,722	▲0.6
11月	6,750	▲8.8	3,672	+0.9	2,940	▲0.5
12月	6,240	▲13.2	3,620	▲1.8	3,696	+1.1
平成26年1月	4,150	▲8.8	3,427	▲4.1	2,767	+2.7
2月	4,980	▲1.6	3,531	▲2.6	2,889	+8.4
3月	7,260	+20.4	3,828	▲6.1	3,166	+6.8
4月	4,470	▲25.3	3,772	▲0.8	2,503	▲9.0
5月	5,380	▲9.1	4,106	+3.4	2,866	+1.8
6月	5,330	▲9.7	3,706	▲5.7	2,935	▲12.8
7月	5,080	▲8.5	3,706	▲2.6	3,251	▲3.3
8月	5,630	▲2.4	3,772	+4.6	3,093	▲2.2
9月	7,690	▲10.0	3,689	+4.3	2,515	+5.2

資料:総務省「家計調査」(二人以上の世帯)

(参考2) 1世帯当たりの支出金額の推移(食料)

(単位:円、%)

	食料		米		パン		めん類		スパゲッティ		カップめん		菓子類		調理食品		外食		ハンバーガー	
	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
21年	896,129	▲1.0	30,496	▲2.3	28,966	+3.0	18,423	+2.4	1,400	+3.2	3,293	+9.2	80,403	+1.8	98,469	▲0.1	161,314	▲2.2	4,352	+7.6
22年	884,768	▲1.3	28,610	▲6.2	28,177	▲2.7	18,047	▲2.0	1,280	▲8.6	3,351	+1.8	78,861	▲1.9	99,866	+1.4	160,230	▲0.7	4,476	+2.8
23年	872,850	▲1.3	27,425	▲4.1	28,321	+0.5	18,236	+1.0	1,285	+0.4	3,468	+3.5	76,801	▲2.6	101,930	+2.1	154,549	▲3.5	4,501	+0.6
24年	879,402	+0.8	28,731	+4.8	28,282	▲0.1	17,563	▲3.7	1,255	▲2.3	3,358	▲3.2	77,779	+1.3	104,615	+2.6	157,668	+2.0	4,315	▲4.1
25年	895,860	+1.9	28,093	▲2.2	27,974	▲1.1	17,170	▲2.2	1,193	▲4.9	3,313	▲1.3	78,948	+1.5	105,033	+0.4	165,246	+4.8	4,170	▲3.4
24年1月	69,105	+1.4	1,707	+7.7	2,307	+5.2	1,313	▲2.2	99	+8.8	290	▲3.3	6,183	+1.7	8,106	+2.7	14,227	+1.1	433	▲1.4
2月	67,024	+2.9	1,873	+4.8	2,342	+6.8	1,273	+1.2	102	▲2.9	292	+4.3	6,426	+2.8	8,069	+5.5	11,342	▲1.9	329	▲5.2
3月	73,367	+4.1	2,120	▲16.4	2,577	+0.7	1,385	▲16.8	119	▲16.2	329	▲25.7	7,133	+7.5	8,422	+3.0	13,709	+22.2	382	+12.0
4月	70,347	+2.9	2,180	+8.0	2,473	▲1.1	1,352	+0.5	118	+6.3	274	+8.3	6,198	▲0.4	8,308	+4.2	12,503	+5.9	360	+8.4
5月	78,876	+8.7	2,225	+14.5	2,464	▲2.1	1,439	▲4.7	117	+5.4	247	▲6.1	6,601	+0.5	8,232	+2.6	13,556	▲1.1	311	▲15.5
6月	69,871	+0.9	2,177	+11.4	2,382	+2.7	1,554	▲4.7	105	+2.9	239	▲0.4	5,953	+5.1	7,852	+2.4	12,041	+3.7	298	▲2.6
7月	73,734	▲1.8	2,115	+3.0	2,348	+1.5	1,871	▲9.1	99	▲2.9	224	▲0.9	6,304	▲0.5	9,104	+0.4	13,143	▲1.6	381	▲2.6
8月	77,611	+0.5	2,276	+6.9	2,297	▲0.5	1,623	▲1.4	99	+1.0	233	▲9.7	7,415	+2.3	9,071	+2.1	15,291	+2.2	417	▲4.1
9月	69,859	+0.5	2,950	+7.1	2,248	▲0.9	1,231	▲4.0	99	▲3.9	256	▲6.2	5,735	▲0.8	8,150	+2.0	12,477	+3.8	351	▲0.3
10月	71,635	▲1.9	3,859	+1.4	2,313	▲4.7	1,280	▲2.1	102	▲5.6	288	▲0.7	5,701	▲2.3	8,605	+2.8	12,307	▲4.5	332	▲18.4
11月	69,959	▲0.8	2,527	+12.0	2,229	▲4.5	1,368	+0.1	94	▲11.3	291	+5.4	5,718	▲1.8	8,385	+1.5	12,710	▲0.2	346	▲2.5
12月	94,014	+0.5	2,721	+4.5	2,301	▲3.7	1,874	+2.7	101	▲4.7	395	+7.6	8,411	+0.6	12,311	+2.8	14,362	▲1.7	375	▲12.4
25年1月	69,041	▲0.1	1,829	+7.1	2,251	▲2.4	1,280	▲2.5	85	▲14.1	295	+1.7	6,080	▲1.7	8,406	+3.7	13,977	▲1.8	362	▲16.4
2月	65,406	▲2.4	1,997	+6.6	2,216	▲5.4	1,232	▲3.2	100	▲2.0	289	▲1.0	6,459	+0.5	7,825	▲3.0	11,241	▲0.9	325	▲1.2
3月	74,663	+1.8	2,290	+8.0	2,532	▲1.7	1,375	▲0.7	118	▲0.8	315	▲4.3	7,188	+0.8	8,450	+0.3	14,227	+3.8	382	±0.0
4月	70,637	+0.4	2,325	+6.7	2,474	+0.0	1,332	▲1.5	110	▲6.8	277	+1.1	6,291	+1.5	8,075	▲2.8	12,725	+1.8	324	▲10.0
5月	74,302	▲5.8	2,313	+4.0	2,489	+1.0	1,401	▲2.6	103	▲12.0	249	+0.8	6,607	+0.1	8,296	+0.8	14,449	+6.6	311	±0.0
6月	72,216	+3.4	2,303	+5.8	2,404	+0.9	1,615	+3.9	96	▲8.6	238	▲0.4	5,997	+0.7	7,980	+1.6	12,935	+7.4	295	▲1.0
7月	75,639	+2.6	2,167	+2.5	2,323	▲1.1	1,764	▲5.7	90	▲9.1	224	±0.0	6,511	+3.3	9,146	+0.5	13,681	+4.1	370	▲2.9
8月	79,755	+2.8	2,173	▲4.5	2,236	▲2.7	1,637	+0.9	91	▲8.1	249	+6.9	7,787	+5.0	9,180	+1.2	16,419	+7.4	425	+1.9
9月	72,331	+3.5	2,903	▲1.6	2,206	▲1.9	1,194	▲3.0	100	+1.0	269	+5.1	5,962	+4.0	8,407	+3.2	13,400	+7.4	351	±0.0
10月	72,523	+1.2	3,088	▲20.0	2,285	▲1.2	1,281	+0.1	105	+2.9	289	+0.3	5,742	+0.7	8,559	▲0.5	12,646	+2.8	316	▲4.8
11月	72,740	+4.0	2,312	▲8.5	2,278	+2.2	1,307	▲4.5	95	+1.1	275	▲5.5	6,032	+5.5	8,449	+0.8	13,823	+8.8	340	▲1.7
12月	96,607	+2.8	2,392	▲12.1	2,279	▲1.0	1,752	▲6.5	102	+1.0	344	▲12.9	8,293	▲1.4	12,259	▲0.4	15,726	+9.5	368	▲1.9
26年1月	71,055	+2.9	1,555	▲15.0	2,222	▲1.3	1,260	▲1.6	96	+12.9	275	▲6.8	6,202	+2.0	8,183	▲2.7	14,831	+6.1	362	±0.0
2月	66,424	+1.6	1,810	▲9.4	2,221	+0.2	1,277	+3.7	106	+6.0	299	+3.5	6,275	▲2.8	7,808	▲0.2	11,277	+0.3	307	▲5.5
3月	79,114	+6.0	2,524	+10.2	2,561	+1.1	1,475	+7.3	140	+18.6	350	+11.1	7,432	+3.4	8,728	+3.3	14,296	+0.5	350	▲8.4
4月	69,378	▲1.8	1,635	▲29.7	2,454	▲0.8	1,212	▲9.0	93	▲15.5	252	▲9.0	6,197	▲1.5	8,279	+2.5	13,160	+3.4	325	+0.3
5月	76,337	+2.7	1,908	▲17.5	2,557	+2.7	1,392	▲0.6	96	▲6.8	243	▲2.4	6,701	+1.4	8,643	+4.2	15,047	+4.1	316	+1.6
6月	73,253	+1.4	1,963	▲14.8	2,417	+0.5	1,584	▲1.9	90	▲6.3	241	+1.3	6,036	+0.7	8,311	+4.1	12,857	▲0.6	304	+3.1
7月	75,513	▲0.2	1,876	▲13.4	2,452	+5.6	1,793	+1.6	93	+3.3	242	+8.0	6,452	▲0.9	9,532	+4.2	13,454	▲1.7	290	▲21.6
8月	81,205	+1.8	1,998	▲8.1	2,486	+11.2	1,653	+1.0	94	+3.3	273	+9.6	7,507	▲3.6	9,475	+3.2	16,561	+0.9	325	▲23.5
9月	73,328	+1.4	2,569	▲11.5	2,400	+8.8	1,197	+0.3	95	▲5.0	266	▲1.1	5,996	+0.6	8,555	+1.8	13,287	▲0.8	285	▲18.8

資料:総務省「家計調査」(二人以上の世帯)

10 米の消費動向 ①(1人1ヶ月当たり精米消費量の推移)

米の消費動向（社）米穀安定供給確保支援機構による米の消費動向調査結果：平成23年4月分調査から実施)

- 本調査は、調査実施機関（株）マクロミル）のモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている。（インターネット調査）
- ※ 平成23年4月分及び5月分の調査は、東日本大震災のため東北6県及び茨城県を調査対象外としているため、暫定値として公表。
- ※ 集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。（23年度はH17年国勢調査、24年度以降はH22年国勢調査）

① 1人1ヶ月当たり精米消費量の推移

【平成23年度】 (上段:対前月比(24年4月からは対前年同月比)、下段:実数(精米g/人))

	平成23年4月		平成23年5月		平成23年6月		平成23年7月		平成23年8月		平成23年9月		平成23年10月		平成23年11月		平成23年12月		平成24年1月		平成24年2月		平成24年3月		平成23年度(平均)					
	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前年同月比	内訳		
合計	-	-	▲6.0%	5,434	▲1.2%	5,045	▲7.2%	4,681	0.2%	4,692	3.1%	4,839	▲1.2%	4,783	1.5%	4,856	▲5.4%	4,596	1.4%	4,661	▲0.3%	4,649	2.1%	4,748	-	4,841	-	-	-	
家庭内	-	100.0%	▲4.5%	5,106	0.9%	5,045	▲10.5%	4,681	0.3%	4,692	5.9%	4,839	▲0.2%	4,783	0.7%	4,856	▲8.3%	4,596	3.8%	4,661	2.3%	4,649	▲0.2%	4,748	-	4,841	-	-	-	
中・外食	-	65.1%	▲8.9%	3,377	▲5.2%	3,406	▲0.2%	3,047	0.1%	3,055	▲2.1%	3,236	▲3.1%	3,229	3.3%	3,251	0.6%	2,982	▲2.9%	3,094	▲5.4%	3,166	7.1%	3,160	3,211	66.3%	3,211	66.3%	-	-
中食	-	-	▲9.6%	1,041	▲8.5%	953	▲4.2%	913	0.3%	916	▲1.9%	909	▲1.9%	892	1.2%	903	▲1.4%	849	▲4.6%	834	▲1.8%	834	6.7%	890	928	19.2%	928	19.2%	-	-
外食	-	21.2%	▲7.8%	1,152	▲0.3%	1,041	+5.2%	913	▲0.3%	916	▲4.5%	892	▲4.5%	892	6.0%	903	▲0.8%	849	▲9.6%	834	7.6%	834	-	890	928	19.2%	928	19.2%	-	-
外食	-	13.7%	-	746	-	688	-	722	-	720	-	693	-	662	-	702	-	724	-	718	-	649	-	698	701	14.5%	701	14.5%	-	-

【平成24年度】

	平成24年4月		平成24年5月		平成24年6月		平成24年7月		平成24年8月		平成24年9月		平成24年10月		平成24年11月		平成24年12月		平成25年1月		平成25年2月		平成25年3月		平成24年度(平均)						
	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前年同月比	内訳	対前年同月比	内訳			
合計	▲0.7%	5,395	▲0.04%	5,104	+1.8%	5,135	+2.3%	4,788	▲1.3%	4,629	▲0.4%	4,820	+3.1%	4,931	+1.2%	4,916	+6.9%	4,914	+1.8%	4,746	+4.7%	4,866	▲1.8%	4,664	1.4%	4,909	1.4%	4,909	100.0%		
家庭内	3.0%	3,642	0.4%	3,391	+1.2%	3,446	+4.0%	3,170	+2.3%	3,126	+1.5%	3,285	+5.9%	3,420	+4.8%	3,406	+13.5%	3,384	+7.2%	3,318	+8.4%	3,431	1.1%	3,195	4.4%	3,351	68.3%	3,351	68.3%	-	-
中・外食	▲7.6%	1,754	▲0.9%	1,713	+3.1%	1,690	▲1.0%	1,618	▲8.1%	1,504	▲4.2%	1,535	▲2.8%	1,511	▲5.9%	1,510	▲5.2%	1,429	▲8.8%	1,435	▲3.2%	1,435	▲7.5%	1,469	▲4.4%	1,558	31.7%	1,558	31.7%	-	-
中食	▲12.3%	1,010	▲5.1%	988	+5.4%	1,004	+3.2%	942	▲7.1%	851	▲3.0%	882	▲2.1%	873	▲5.1%	877	▲1.5%	836	▲1.5%	847	+1.6%	847	▲7.1%	827	▲3.1%	900	18.3%	900	18.3%	-	-
外食	▲0.3%	744	+5.4%	725	+0.0%	686	▲6.4%	676	▲9.4%	652	▲5.8%	638	▲3.6%	652	▲7.1%	654	▲9.7%	592	▲17.5%	589	▲9.2%	589	▲8.0%	642	▲6.1%	658	13.4%	658	13.4%	-	-

【平成25年度】

	平成25年4月		平成25年5月		平成25年6月		平成25年7月		平成25年8月		平成25年9月		平成25年10月		平成25年11月		平成25年12月		平成26年1月		平成26年2月		平成26年3月		平成25年度(平均)						
	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前年同月比	内訳	対前年同月比	内訳			
合計	▲11.4%	4,779	▲11.6%	4,574	▲10.9%	4,575	▲8.7%	4,373	▲8.6%	4,233	▲8.7%	4,400	▲8.2%	4,528	▲9.6%	4,443	▲11.2%	4,363	▲7.4%	4,396	▲5.7%	4,587	▲7.0%	4,338	▲9.0%	4,466	▲9.0%	4,466	100.0%		
家庭内	▲13.0%	3,169	▲9.0%	3,086	▲11.6%	3,048	▲8.9%	2,889	▲11.1%	2,779	▲9.0%	2,990	▲10.9%	3,048	▲12.7%	2,972	▲15.4%	2,863	▲10.3%	2,977	▲6.9%	3,196	▲9.4%	2,896	▲10.7%	2,993	67.0%	2,993	67.0%	-	-
中・外食	▲8.2%	1,610	▲13.1%	1,489	▲9.6%	1,527	▲8.2%	1,485	▲3.3%	1,454	▲8.2%	1,409	▲2.0%	1,481	▲2.6%	1,471	▲2.0%	1,500	▲0.7%	1,419	▲3.1%	1,391	▲1.8%	1,442	▲5.5%	1,473	33.0%	1,473	33.0%	-	-
中食	▲7.8%	931	▲10.8%	881	▲11.1%	893	▲8.4%	863	▲6.2%	798	▲7.9%	812	▲0.8%	866	▲3.3%	829	▲3.1%	850	▲1.6%	823	▲6.3%	794	▲1.7%	813	▲6.0%	846	18.9%	846	18.9%	-	-
外食	▲8.7%	679	▲16.1%	608	▲7.6%	634	▲8.0%	622	+0.6%	656	▲8.4%	598	▲3.6%	615	▲1.4%	643	▲0.8%	649	+0.7%	596	+1.2%	596	▲2.0%	629	▲4.7%	627	14.0%	627	14.0%	-	-

【平成26年度】

	平成26年4月		平成26年5月		平成26年6月		平成26年7月		平成26年8月		平成26年9月		平成26年10月	
	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳	対前月比	内訳
合計	+4.3%	4,986	+5.7%	4,834	+1.5%	4,643	+2.9%	4,500	+3.6%	4,387	+2.2%	4,495	+2.1%	4,624
家庭内	+11.4%	3,529	+9.3%	3,374	+6.0%	3,232	+9.5%	3,163	+9.9%	3,053	+6.5%	3,183	+8.0%	3,291
中・外食	▲9.5%	1,457	▲2.0%	1,460	▲7.6%	1,411	▲10.0%	1,337	▲8.3%	1,334	▲6.9%	1,312	▲9.9%	1,334
中食	▲7.1%	865	▲4.5%	841	▲9.3%	810	▲11.4%	765	▲7.3%	740	▲6.3%	761	▲11.7%	765
外食	▲12.8%	592	+1.8%	619	▲5.2%	601	▲8.0%	572	▲9.5%	594	▲7.9%	551	▲7.5%	569

注1：家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握。中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。
 注2：ラウンドの関係で合計と内訳が合わない場合がある。

10 米の消費動向 ②(入手経路)

② 精米購入時の動向

(1) 入手経路(複数回答)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協 (店舗、共同購入含む)	農協 (店舗、共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	その他
平成23年4月	0.5	51.6	2.4	5.1	0.0	8.1	1.7	4.4	1.8	5.2	5.4	19.2	1.6
5月	1.3	44.6	3.9	4.3	0.3	8.4	1.2	4.6	1.4	6.4	5.5	24.4	2.9
6月	1.7	45.5	3.7	5.4	0.3	8.4	2.0	4.0	0.9	5.6	6.6	20.7	2.3
7月	1.1	43.6	3.5	4.2	0.4	10.4	1.3	3.8	1.2	7.9	5.6	22.4	2.2
8月	0.8	46.1	4.0	4.8	0.7	10.0	1.1	3.3	1.4	6.0	6.3	22.1	2.1
9月	0.2	48.3	3.1	3.7	0.2	8.7	1.2	3.5	1.4	7.2	6.2	22.7	2.1
10月	0.5	44.5	4.5	2.6	0.4	8.8	1.1	3.5	2.0	7.5	4.6	29.6	2.3
11月	0.0	43.6	2.9	4.4	0.6	7.7	0.9	4.2	1.3	7.3	6.9	28.4	2.6
12月	0.6	45.2	3.3	3.5	0.8	8.5	1.1	3.6	1.0	7.1	6.7	26.4	2.3
平成24年1月	0.4	44.3	4.8	4.4	0.8	8.1	1.5	3.8	0.4	7.1	7.8	23.9	1.9
2月	0.2	47.0	3.9	3.7	0.3	8.6	1.7	3.8	1.5	7.3	8.4	20.5	2.6
3月	0.6	46.7	4.0	4.4	0.2	8.0	1.4	2.9	1.2	7.2	7.1	21.3	1.7
4月	0.7	46.8	5.0	4.6	0.2	7.2	1.5	4.3	1.5	6.8	7.2	18.7	1.6
5月	0.5	45.9	5.1	3.6	0.2	6.4	1.9	4.3	1.7	7.1	9.4	19.4	1.5
6月	1.0	44.9	5.5	3.8	0.1	7.1	2.2	4.4	2.3	5.5	7.8	21.5	1.9
7月	1.4	47.5	5.0	3.6	0.1	7.8	2.2	4.1	1.7	6.5	7.0	20.5	1.8
8月	1.1	46.8	4.4	3.4	0.4	7.5	1.9	4.3	1.2	5.2	7.4	22.6	1.6
9月	0.8	46.3	4.9	3.0	0.2	8.2	1.7	3.3	1.4	7.7	5.7	25.7	1.7
10月	0.8	41.3	3.4	3.1	0.2	8.2	1.8	3.9	3.0	8.2	7.3	28.8	2.7
11月	0.8	42.7	3.0	3.1	0.3	7.3	1.9	4.4	2.1	7.1	8.1	26.8	2.6
12月	1.2	41.2	4.1	3.4	0.4	8.9	1.7	5.5	1.8	8.3	7.2	25.5	2.2
平成25年1月	1.2	42.2	3.7	2.7	0.3	8.6	1.7	4.7	1.4	7.0	6.4	26.2	2.5
2月	1.3	48.1	4.2	3.3	0.3	8.4	1.8	3.9	1.7	6.9	7.4	19.3	1.9
3月	0.9	47.4	3.0	3.4	0.3	8.2	1.7	3.8	1.6	7.6	8.1	20.0	1.5
4月	0.7	49.0	4.4	3.2	0.1	7.7	1.5	3.4	1.6	6.7	8.1	17.5	3.0
5月	0.7	49.2	4.2	2.7	0.5	7.0	1.4	4.9	1.8	5.9	10.3	17.7	1.5
6月	0.6	50.5	4.0	2.2	0.4	8.3	1.6	4.1	1.9	6.3	9.2	17.6	1.6
7月	0.8	49.1	4.6	3.8	0.5	7.6	1.9	5.1	1.3	5.8	9.4	17.9	0.9
8月	0.7	48.5	3.3	2.1	0.4	7.6	1.8	4.6	1.9	6.5	8.0	21.0	1.1
9月	0.5	49.4	4.0	2.1	0.3	6.3	1.7	4.5	1.5	6.4	9.3	22.7	1.6
10月	0.8	44.7	2.6	2.1	0.1	6.6	1.3	3.3	2.0	7.5	10.9	26.4	1.9
11月	0.5	42.8	3.5	2.8	0.2	5.9	1.5	3.3	3.0	8.0	11.2	24.6	2.2
12月	1.1	45.6	3.2	2.2	0.5	7.3	1.4	3.3	2.0	7.1	9.5	23.3	2.0
平成26年1月	0.6	45.5	3.2	2.7	0.3	6.3	1.7	3.2	1.4	7.2	10.5	23.0	0.8
2月	1.3	45.9	4.4	3.2	0.2	7.4	2.0	3.1	1.3	7.5	10.6	19.7	1.5
3月	0.6	48.0	4.3	4.0	0.2	6.8	1.7	2.7	2.3	6.2	12.8	17.9	1.4
4月	1.2	47.5	4.5	3.9	0.7	7.6	1.6	3.7	1.6	7.8	6.4	18.6	1.9
5月	1.6	50.0	4.7	2.3	0.02	8.0	1.4	2.6	1.7	7.3	9.4	17.1	1.8
6月	1.0	50.8	4.4	2.9	0.3	8.2	2.1	3.4	1.9	6.9	7.5	17.2	2.6
7月	1.3	51.4	4.1	2.7	0.1	6.7	1.2	3.3	1.7	5.3	10.0	18.1	2.3
8月	1.7	50.2	3.5	3.1	0.1	8.3	1.5	4.1	1.5	5.5	8.4	19.5	1.9
9月	0.9	47.8	3.8	2.8	0.4	9.3	1.4	4.2	1.9	5.4	8.7	20.8	2.1
10月	1.9	46.5	4.4	2.0	0.3	5.9	1.3	3.3	2.9	8.2	7.3	23.8	3.4

10 米の消費動向 ④(精米購入時重視点、家庭内在庫数量)

② 精米購入時の動向

(3) 精米購入時重視点 (複数回答)

	産地	品種	年産	価格	食味 (おこし) (%)	適量感	安全性	無洗米	精米年月日	栽培方法	業者製造販売	販売店	その他
平成23年4月	42.6	53.6	31.9	76.0	47.1	8.4	25.4	-	28.2	6.4	7.2	4.2	7.8
5月	45.9	52.4	32.7	77.0	48.3	7.2	27.9	-	27.3	4.7	6.9	3.3	5.3
6月	44.0	53.7	34.6	78.3	50.6	7.6	24.7	-	28.5	4.7	7.9	4.0	4.8
7月	48.0	52.2	33.3	79.6	49.7	8.5	28.4	-	28.1	4.3	6.6	4.3	3.4
8月	50.9	51.2	34.8	78.4	47.8	10.3	31.4	-	25.8	4.4	6.7	4.1	4.8
9月	47.9	50.2	35.9	78.0	48.0	8.0	32.0	-	25.1	3.5	7.5	4.7	4.7
10月	53.5	52.2	37.1	77.5	49.5	10.2	32.5	-	25.6	4.5	6.8	3.8	4.5
11月	53.4	50.7	40.9	77.7	49.9	9.2	35.6	-	26.6	4.3	8.9	4.1	5.2
12月	52.4	49.4	39.5	79.0	49.2	8.4	34.4	-	27.8	3.8	7.9	6.4	4.4
平成24年1月	53.7	51.2	39.5	77.1	47.1	11.5	34.3	-	27.4	5.3	9.2	5.0	4.9
2月	51.0	49.2	37.9	79.0	48.1	8.6	33.3	-	28.8	3.8	8.7	6.0	4.9
3月	54.8	51.3	41.1	76.4	49.9	10.5	33.0	-	29.3	4.2	7.5	5.2	5.4
4月	51.5	48.2	30.2	74.3	44.6	6.7	31.7	11.2	21.0	4.2	6.4	4.2	3.9
5月	52.0	51.1	34.6	75.5	46.5	8.5	29.7	11.5	22.7	4.6	6.6	3.4	2.8
6月	52.2	50.1	33.1	75.4	47.5	9.0	32.3	11.5	23.6	5.0	6.6	4.1	3.7
7月	53.0	50.5	35.4	74.2	48.4	9.0	32.8	11.4	22.9	5.0	7.3	5.0	2.4
8月	54.3	50.8	37.4	74.8	48.8	9.2	32.0	12.1	23.7	5.4	7.8	4.0	1.9
9月	56.0	50.6	36.6	74.6	48.3	8.1	31.5	10.9	22.9	5.3	8.8	4.4	2.4
10月	52.8	52.5	38.0	74.8	50.6	8.5	33.5	10.6	24.7	5.5	8.6	5.2	2.0
11月	54.6	51.3	39.5	73.1	52.2	9.3	33.1	10.3	24.2	6.1	8.8	5.4	2.2
12月	55.0	52.3	39.1	73.6	49.9	9.7	32.7	11.3	23.9	5.1	8.9	4.7	2.2
平成25年1月	54.9	51.8	37.9	74.2	51.0	9.5	33.0	10.8	25.3	5.4	9.1	4.9	1.8
2月	53.1	54.9	38.7	74.9	49.6	9.7	33.6	12.8	25.9	5.1	8.7	5.4	1.8
3月	55.6	52.8	40.7	74.7	51.0	10.2	33.1	12.6	25.8	5.2	8.4	4.8	2.4
4月	54.8	52.3	32.8	77.1	45.2	9.0	31.1	12.8	23.1	4.0	7.3	3.7	3.1
5月	54.1	53.7	34.3	75.2	46.5	8.1	32.1	11.9	22.3	3.9	6.0	3.5	2.3
6月	54.5	53.7	33.9	76.2	47.7	9.2	29.3	12.3	23.3	3.4	6.7	3.7	2.4
7月	55.4	52.7	35.0	77.6	47.6	8.2	31.8	11.5	22.5	3.8	8.0	4.2	1.5
8月	57.4	54.2	36.0	76.3	44.5	7.4	32.8	10.6	22.2	4.0	7.8	3.4	1.9
9月	58.8	53.4	38.5	77.1	46.9	8.4	30.6	11.9	25.4	4.6	8.0	2.8	1.8
10月	59.3	55.1	40.4	76.0	47.7	8.2	30.7	11.8	23.7	4.6	9.1	4.5	2.3
11月	57.4	54.0	41.3	76.5	48.5	8.5	32.5	11.0	25.5	4.7	7.9	4.7	2.1
12月	57.2	56.6	42.3	76.6	48.3	9.6	32.4	11.3	24.6	5.7	8.1	4.6	1.6
平成26年1月	56.4	53.2	41.5	76.2	48.3	8.6	33.2	12.7	24.7	5.0	10.0	4.6	2.3
2月	57.8	56.3	43.4	76.8	47.5	9.1	31.4	12.2	25.1	5.5	9.1	5.1	1.7
3月	57.6	55.3	44.7	77.5	49.1	8.7	31.4	12.6	25.6	5.9	8.8	4.4	2.0
4月	55.4	55.3	34.8	76.1	48.4	8.1	31.0	12.7	24.6	5.1	7.3	4.8	2.2
5月	57.1	56.5	37.5	76.1	47.5	7.1	31.0	11.9	26.1	4.5	7.0	3.9	2.1
6月	57.6	58.0	38.9	74.5	50.1	6.9	32.7	12.3	25.9	4.2	8.5	5.0	1.3
7月	61.1	56.4	39.4	78.1	47.6	7.0	33.7	11.3	26.9	4.2	7.7	5.4	1.7
8月	63.1	57.3	41.5	76.9	50.7	8.8	33.7	11.5	27.2	5.0	9.3	5.9	1.3
9月	61.0	59.0	43.8	74.8	51.4	7.3	33.7	10.8	27.2	4.9	8.0	5.1	1.3
10月	62.3	56.8	45.9	74.9	50.3	8.4	32.3	10.8	26.1	4.8	9.9	6.4	1.6

③ 家庭内の月末在庫数量

		(kg/世帯)												平均	前年比		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
23年度	月末在庫数量	6.8	7.0	7.0	6.7	6.9	6.9	8.3	7.9	8.3	7.6	7.5	7.2	7.3	-		
	平均世帯人員	2.51	2.51	2.54	2.53	2.54	2.53	2.53	2.54	2.54	2.54	2.54	2.54	2.53	-		
24年度	月末在庫数量	6.1	6.1	6.3	6.2	6.1	6.5	7.3	7.2	7.4	7.1	6.8	6.8	6.7	▲8.2		
	平均世帯人員	2.42	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	-		
25年度	月末在庫数量	6.4	6.3	6.3	6.2	6.4	6.6	7.1	7.1	7.2	6.8	6.7	7.7	6.7	0.0		
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.40	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	-		
26年度	月末在庫数量	6.8	6.8	6.5	6.3	6.5	6.8	7.3									
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41									

注：1) 地域ごとの世帯人員構成比が23年度はH17国勢調査、24年度以降はH22国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で集計した。
 2) 平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数である。

11 外食の動向 ①

「外食産業市場動向調査」10月度全店データ(社団法人日本フードサービス協会)

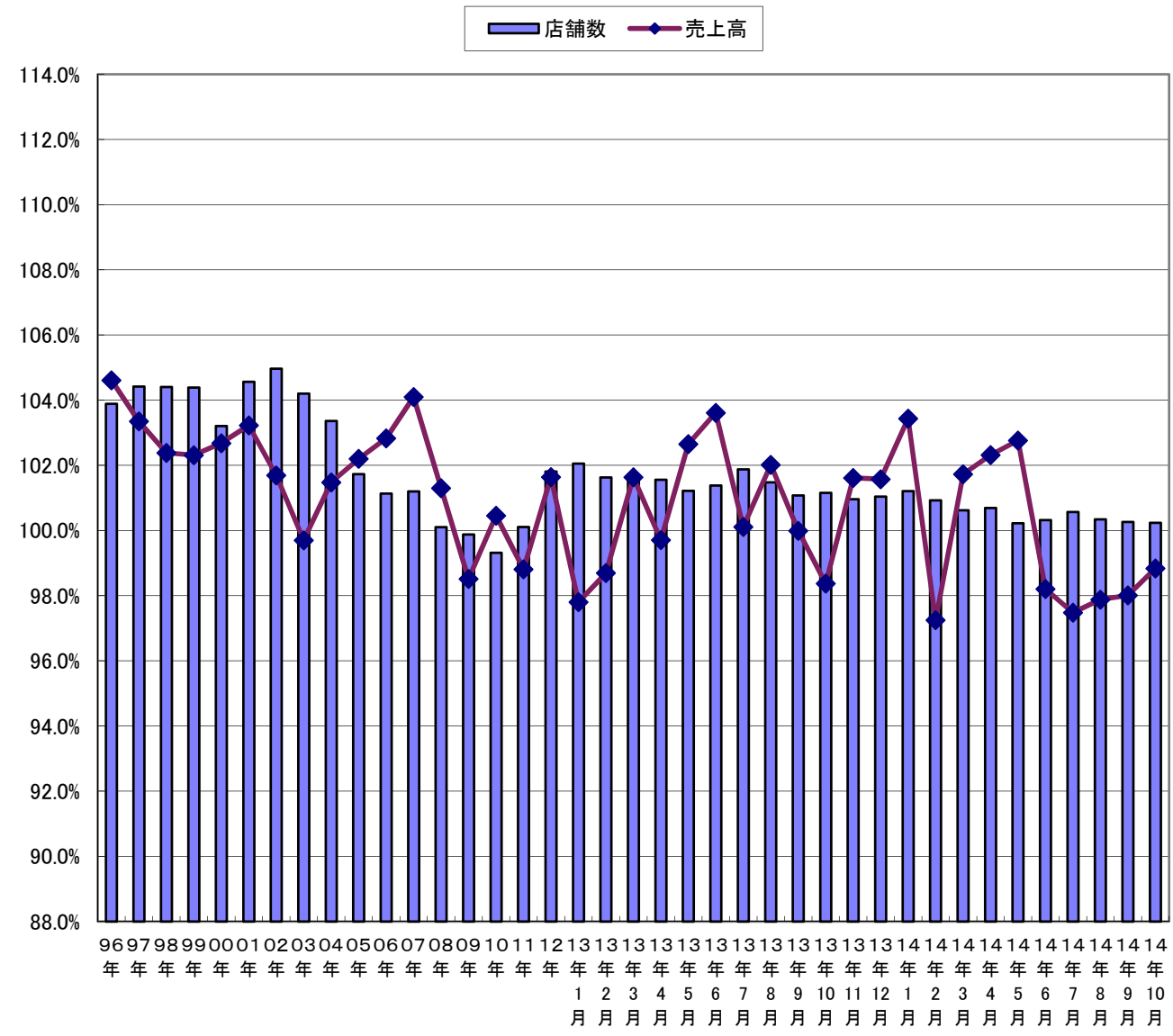
1. 全店データ(前年同月比)

		売上高	店舗数	客数	客単価		
		前年比	前年比	前年比	前年比		
	全体	(N=212)	(N=32038)	98.8%	100.2%	95.8%	103.1%
ファーストフード	合計	(N= 57)	(N=16675)	95.9%	99.9%	94.0%	102.0%
	洋風	(N= 19)	(N=6686)	88.3%	99.0%	87.1%	101.4%
	和風	(N= 9)	(N=2375)	105.7%	101.2%	100.2%	105.5%
	麺類	(N= 24)	(N=3031)	109.1%	102.4%	106.9%	102.1%
	持ち帰り米飯/回転寿司	(N= 17)	(N=2039)	96.2%	96.9%	93.6%	102.8%
その他	(N= 10)	(N=2544)	104.1%	100.5%	103.0%	101.1%	
ファミリーレストラン	合計	(N= 53)	(N=9767)	102.9%	101.5%	99.6%	103.3%
	洋風	(N= 25)	(N=5187)	101.7%	101.0%	98.8%	102.9%
	和風	(N= 27)	(N=2070)	103.7%	102.8%	101.6%	102.0%
	中華	(N= 16)	(N=1406)	101.3%	101.7%	98.5%	102.9%
	焼き肉	(N= 13)	(N=1104)	109.7%	101.3%	106.1%	103.3%
パブ/居酒屋	合計	(N= 36)	(N=2126)	97.8%	96.2%	98.2%	99.6%
	パブ・ビアホール	(N= 9)	(N=327)	104.3%	102.5%	104.9%	99.4%
	居酒屋	(N= 30)	(N=1799)	96.4%	95.1%	96.3%	100.1%
ディナーレストラン(計)		(N= 30)	(N=757)	100.4%	103.1%	97.9%	102.6%
喫茶(計)		(N= 14)	(N=2205)	100.4%	100.0%	96.5%	104.0%
その他(計)		(N= 22)	(N=508)	107.2%	102.6%	101.3%	105.8%

*前年同月比は税抜比較で行っている。

*ファーストフード、ファミリーレストラン、パブ/居酒屋の各業態の内訳に関しては、重複する事業社があるため合計の数値は必ずしも内訳の累積に一致しない。

売上高と店舗数の伸び率推移



11 外食の動向 ②

2. 全店時系列データ(前年同月比)

a. 売上高前年同月比

	13年10月	11月	12月	14年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全 体	98.4%	101.6%	101.6%	103.4%	97.2%	101.7%	102.3%	102.8%	98.2%	97.5%	97.9%	98.0%	98.8%
ファーストフード	96.6%	98.9%	99.7%	103.2%	96.6%	101.8%	100.9%	101.3%	96.8%	94.4%	93.8%	95.7%	95.9%
ファミリーレストラン	102.2%	106.4%	105.7%	104.4%	100.4%	103.9%	105.0%	106.2%	101.5%	101.1%	102.9%	101.5%	102.9%
パブレストラン/居酒屋	92.1%	97.4%	96.2%	99.2%	89.8%	93.2%	98.7%	98.2%	92.4%	93.9%	94.8%	96.3%	97.8%
ディナーレストラン	100.1%	105.5%	104.4%	105.9%	98.7%	103.4%	104.4%	104.9%	100.1%	108.8%	110.9%	104.1%	100.4%
喫茶	99.7%	100.3%	101.2%	102.1%	98.6%	98.7%	101.5%	99.3%	99.0%	99.5%	98.8%	101.3%	100.4%
その他	102.3%	105.8%	105.7%	106.8%	99.4%	105.9%	106.3%	107.8%	102.0%	107.2%	108.4%	108.9%	107.2%

b. 店舗数前年同月比

	13年10月	11月	12月	14年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全 体	101.2%	101.0%	101.0%	101.2%	100.9%	100.6%	100.7%	100.2%	100.3%	100.6%	100.3%	100.3%	100.2%
ファーストフード	100.7%	100.9%	100.6%	100.8%	100.6%	100.5%	100.4%	99.9%	100.2%	100.1%	100.2%	100.2%	99.9%
ファミリーレストラン	102.0%	101.7%	102.1%	102.1%	102.6%	101.8%	101.7%	101.6%	101.7%	101.6%	101.4%	101.6%	101.5%
パブレストラン/居酒屋	100.1%	99.6%	100.4%	100.1%	98.2%	97.7%	98.4%	96.6%	95.6%	98.2%	95.3%	95.1%	96.2%
ディナーレストラン	99.3%	101.8%	101.9%	100.4%	101.3%	100.2%	100.0%	100.2%	98.7%	103.6%	103.9%	102.9%	103.1%
喫茶	100.5%	99.4%	100.2%	99.8%	99.8%	99.4%	100.8%	100.3%	100.8%	100.9%	101.0%	101.2%	100.0%
その他	108.9%	99.4%	100.0%	107.7%	102.0%	100.3%	102.6%	102.9%	100.4%	103.8%	101.1%	101.9%	102.6%

c. 利用客数前年同月比

	13年10月	11月	12月	14年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全 体	96.6%	98.8%	99.5%	100.7%	95.2%	99.3%	99.3%	98.9%	95.3%	96.1%	95.6%	95.5%	95.8%
ファーストフード	94.9%	96.5%	97.3%	99.6%	94.0%	99.0%	98.0%	97.5%	93.6%	95.0%	93.7%	93.7%	94.0%
ファミリーレストラン	100.5%	104.3%	104.0%	102.9%	98.9%	101.2%	102.6%	103.3%	99.2%	98.0%	99.3%	99.2%	99.6%
パブレストラン/居酒屋	93.4%	99.0%	98.7%	101.7%	92.5%	94.6%	99.9%	99.9%	93.5%	94.9%	95.2%	97.5%	98.2%
ディナーレストラン	98.0%	104.1%	105.2%	104.1%	97.5%	101.2%	95.2%	103.3%	98.0%	106.2%	108.1%	103.3%	97.9%
喫茶	97.6%	98.5%	100.8%	100.2%	96.6%	97.7%	98.2%	96.2%	96.5%	97.2%	95.3%	97.8%	96.5%
その他	106.4%	104.8%	105.1%	108.1%	100.0%	104.4%	102.8%	102.6%	99.3%	102.5%	105.5%	105.8%	101.3%

d. 客単価前年同月比

	13年10月	11月	12月	14年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全 体	101.8%	102.8%	102.1%	102.7%	102.1%	102.4%	103.1%	103.9%	103.0%	101.4%	102.4%	102.7%	103.1%
ファーストフード	101.7%	102.5%	102.4%	103.6%	102.8%	102.9%	103.0%	104.0%	103.4%	99.4%	100.1%	102.1%	102.0%
ファミリーレストラン	101.7%	102.1%	101.7%	101.5%	101.5%	102.7%	102.4%	102.8%	102.3%	103.2%	103.6%	102.3%	103.3%
パブレストラン/居酒屋	98.6%	98.4%	97.5%	97.5%	97.0%	98.5%	98.8%	98.3%	98.8%	98.9%	99.6%	98.8%	99.6%
ディナーレストラン	102.1%	101.4%	99.3%	101.6%	101.3%	102.1%	109.6%	101.5%	102.1%	102.4%	102.5%	100.7%	102.6%
喫茶	102.1%	101.9%	100.4%	101.9%	102.0%	101.1%	103.4%	103.3%	102.7%	102.4%	103.7%	103.6%	104.0%
その他	96.2%	101.0%	100.6%	98.8%	99.4%	101.4%	103.4%	105.1%	102.7%	104.5%	102.8%	102.9%	105.8%

12 主食用米の販売動向(米穀卸売業界調査)

[調査の概要]

全国米穀販売事業共済協同組合が、米穀の販売・需要動向を多角的に把握することを目的として、同組合会員企業を対象に実施。四半期ごとに継続的に調査。

- アンケート回答数 41会員
- 調査期間 平成26年10月28日(火)～11月11日(火)

1. 現在(26年10月)の米販売量(前年同月との比較)

集計結果	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
	100.0%	12.2%	29.3%	22.0%	22.0%	14.6%

<仕向先別>

仕向先	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
小売店向け						
大手スーパー	100%	7.7%	38.5%	26.9%	11.5%	15.4%
中小スーパー	100%	5.1%	25.6%	33.3%	20.5%	15.4%
米穀専門店	100%	5.1%	10.3%	30.8%	25.6%	28.2%
その他	100%	8.6%	5.7%	40.0%	25.7%	20.0%

(外食産業向け)

仕向先	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
外食向け	100%	8.8%	22.9%	45.7%	20.0%	2.9%
中食向け	100%	7.9%	18.4%	52.6%	13.2%	7.9%
給食向け	100%	5.4%	8.1%	62.2%	21.6%	2.7%

- * 1. 太字は、最頻値。
2. DI(diffusion index)の算出方法:内閣府で発表している「景気ウォッチャー調査」方式を採用した。具体的には、5つの回答選択肢に均等に0～1の評価点を与え、各回答の構成比に対応するそれぞれの評価点を乗じ、それらの合計を指数(%ポイント)としてDI値を算出。それが50の場合は横ばい(現状維持)を示す。0に近づくほど販売が低迷傾向にあることを示し、逆に100に近づくほど販売が好調傾向であることを示す。

2. 米販売の動き:過去3ヶ月前との比較 / 3ヶ月後の見通し

(1) 過去3ヶ月前(26年7月)と比較した26年10月の動き

合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI値
100.0%	14.6%	26.8%	29.3%	19.5%	9.8%	54.3

(参考) 前回調査 26年1月と比較した26年4月の動き

100.0%	2.4%	9.5%	28.6%	19.0%	40.5%	28.6
--------	------	------	-------	-------	--------------	-------------

(2) 26年10月から3ヶ月後(27年1月頃)の見通し

合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI値
100.0%	2.4%	14.6%	51.2%	24.4%	7.3%	45.1

(参考) 前回調査 26年4月から3ヶ月後(26年7月頃)の見通し

100.0%	0.0%	16.7%	16.7%	47.6%	19.0%	32.7
--------	------	-------	-------	--------------	-------	-------------

(算出例)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
評価点 A	1	0.75	0.5	0.25	0
結果(構成比) B	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI値 C=A×B	17.8	15	10	5.6	0
DI値(合計)	48.4→米販売の動きはほんの少し低迷傾向				

13 米消費拡大の取組 ① (米飯学校給食の推進について)

- 米飯学校給食は、味覚を育む子どもたちに米を中心とした「日本型食生活」の普及・定着を図る上で重要。
- 農林水産省は、文部科学省と連携して、米飯学校給食を一層普及・推進。

農林水産省の取組

米飯学校給食の拡大に向けた取組への支援

米飯給食を拡大する上で隘路となっている

- ① 食材の安定確保
- ② 産地との連携を通じた食育の推進
- ③ 調理時間・コスト

等の課題を解決する取組の支援をモデル校で実施し、成果を全国の学校給食関係者に普及・啓発。

政府備蓄米の無償交付

米飯学校給食を増加させる場合に、回数の対前年度純増分を対象に政府備蓄米を無償交付。

市町村等への働きかけ

地方農政局や地域センターから、市町村等の学校給食関係者へ米飯学校給食の一層の推進を働きかけ。



米飯学校給食実施回数の新たな目標

文部科学省は、平成21年3月に米飯学校給食の新たな目標として「週3回以上」(週3回以上の地域や学校については、週4回などの目標設定を促す)を通知。

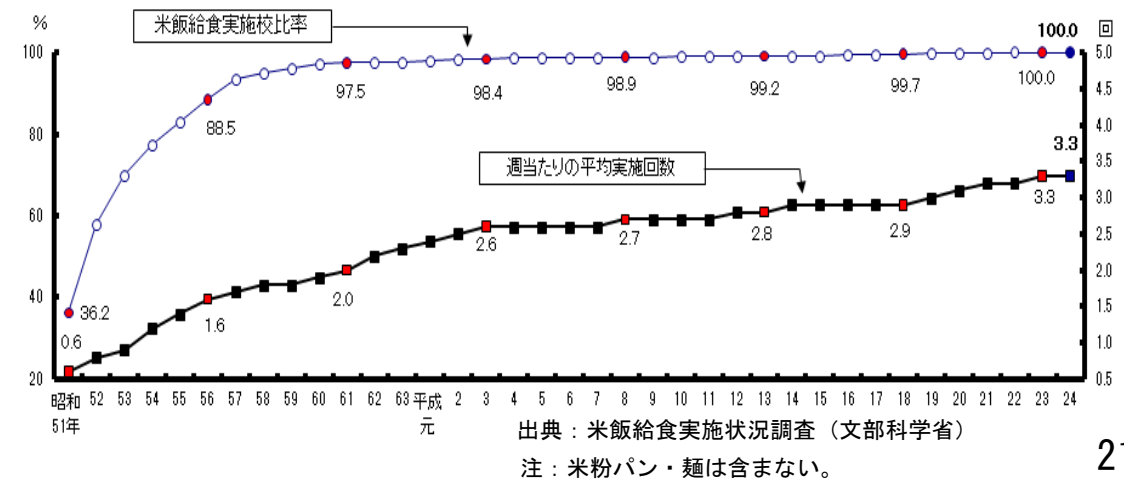
学校における米飯給食の推進について
(平成21年3月31日 文部科学省スポーツ・青少年局長通知)(抜粋)

米飯給食の推進については、週3回以上を目標として推進するものとする。この場合、地場産物の活用推進の観点から、地場産の米や小麦を活用したパン給食など、地域の特性を踏まえた取組にも配慮する。

また、地域や学校の事情等により実施回数が異なっている現状にかんがみ、以下のように、地域や学校の事情等に応じた段階的、漸進的な実施回数の増加を促すこととする。

- (1) 大都市等実施回数が週3回未満の地域や学校については、週3回程度への実施回数の増加を図る。
- (2) 既に過半を占める週3回以上の地域や学校については、週4回程度などの新たな目標を設定し、実施回数の増加を図る。

○ 米飯学校給食実施回数の推移 (平成24年度3.3回)

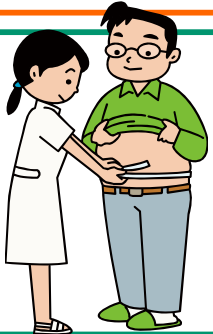


13 米消費拡大の取組 ② (ごはん食の効用の普及・啓発について)

- 医師や病院栄養士等の専門家を通じて、健康面からごはん食の効用をわかりやすく発信。
- 食品関係企業、団体等と連携し、朝食欠食の改善や米を中心とした日本型食生活を普及・啓発。

ごはん食の基本的な効果

- ・粒食で消化がゆっくり進むので、満腹感が持続するとともに、エネルギー源であるブドウ糖を安定的に供給
- ・血糖値の上昇が緩やかで、血液中の過剰な糖をもとにした脂肪の合成・蓄積が少ない
- ・魚、大豆、発酵食品など組み合わせる食材が豊かで、低脂肪で栄養バランスの良い食事となりやすい



シンポジウムによる普及・啓発

<有識者による講演> 「お米のおいしさと機能性」
新潟大学大学院自然科学研究科 大坪研一教授ほか



食品関係企業等による普及・啓発

朝食欠食の市場規模(年間50億食、1.5兆円)

	全国平均	20歳代	30歳代	40歳代
朝食欠食率 (%)	10.8	25.6	20.0	15.6
人口 (24年10月1日) (千人)	127,515	13,320	17,524	17,673
1日の欠食数 (千人)	13,772	3,410	3,451	2,757
年間欠食数 (億食)	50	12	13	10
市場規模 (億円)	15,000	3,600	3,900	3,000

資料：厚生労働省 平成24年「国民健康・栄養調査」
総務省 人口推計 (平成24年10月1日)
注：市場規模は、1食あたり300円として試算。

民間での売場展開やロゴマークを活用した取組



ごはん食の良さを伝えるリーフレットを、デパート、スーパー等において配布

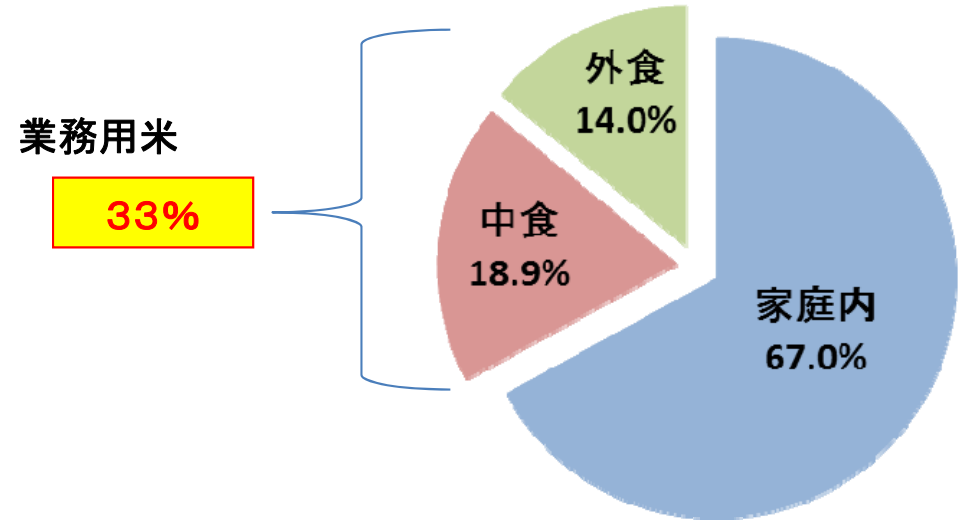
<シンポジウム参加者に対するアンケート結果> 回答者数 約1,200人

- ・シンポジウムに参加した者の、79%が「(お米を) 食べよう/食べてもらおうという気持ちになった」と回答。
特に年齢層の低い女性に好評価。

13 米消費拡大の取組 ③ (業務用米の安定的な取引の推進について)

- ・ 米穀を購入して家庭で炊飯する割合が低下しつつあり、消費に占める中食・外食などの業務用米の割合は、主食用米の1/3。
- ・ 業務用米には、業態やメニューにより、求められる品質や価格が、コシヒカリのようなブランド米とは異なる場合がある。
- ・ 業務用への引き合いがある中で、ミスマッチを解消するため、生産者と実需者のマッチングを支援。

■ 主食用米の消費内訳 (平成25年度平均)



資料：米の消費動向調査((公社) 米穀安定供給確保支援機構調べ)

■ 中食・外食の実需者が業務用米に求める品質

- 例
- 胴割れしにくいもの
 - 用途に適した品種
(例) おにぎり・・・形が崩れにくいもの
 寿司・・・酢が入りやすいもの
 丼物・・・粘りが少ないもの
(流通業者への聞き取り)

■ 実需者と生産者の契約栽培の締結事例

滋賀県の生産法人と地域の炊飯事業者が業務用米(多収穫米)の「にこまる」60トンの契約栽培を締結。
(関係団体への聞き取り)

農 林 水 産 省 の 取 組

業務用米の生産・流通の拡大に向けたセミナー、展示商談会を通じた生産者と実需者の連携(マッチング)促進

実需者をはじめとした関係者のコーディネート、生産技術の支援を通じて、需要と結びついた業務用米の生産体制を整備



業務用米マッチングイベント (平成25年10月25日開催)での商談の様子 23